

# 「ことまな学校サポートサイト」から、三省堂教科書・教材への世界が広がります。

最新の指導用データをダウンロードできる「ことまな学校サポートサイト」

同じアカウントで、教師用指導書同梱の指導者用デジタル教科書（教材）まで活用できる！  
クラウド版はことまな学校サポートサイトから簡単アクセス！

お使いの教科書や学習参考書などに応じて、それぞれの商品の指導用付属データなどをダウンロードし、ご利用いただくことができます。

## テスト問題の作成も簡単ラクラク 自動問題作成プログラム「ことまなT」

令和8年度版教科書より、  
Google フォーム生成に対応！

## Chromebookでのご指導に、Googleフォーム！ Googleアカウント連携「ことまなD」

※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。  
※Google、Googleロゴ、Googleアカウント、GoogleフォームおよびGoogleフォームロゴ、GoogleドライブおよびGoogleドライブロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。



## 三省堂 高等学校英語教科書 英語コミュニケーション

# 指導書ダイジェスト

- クラウン英語コミュニケーション ..... p.2
- マイウェイ英語コミュニケーション ..... p.14
- ビスタ英語コミュニケーション ..... p.26



教科書の詳細はこちらの冊子をご覧ください。



◀特設サイトはこちらから



# INDEX

ラインナップ・共通した特徴		p. 1
 <p>クラウン 英語コミュニケーション</p>	指導用各種データ一覧	pp. 2~3
	解説と指導PDF	p. 4
	題材資料	p. 5
	評価問題（思判表シートを含む）	pp. 6~7
	授業案	p. 8
	通し読みシート	p. 9
	スラッシュ入り本文	p. 10
	Easy Version／サマリー	p. 11
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p. 12
指導者用デジタル教科書（教材）	p. 13	
 <p>マイウェイ 英語コミュニケーション</p>	指導用各種データ一覧	pp. 14~15
	解説と指導PDF	p. 16
	題材資料	p. 17
	評価問題（思判表シートを含む）	pp. 18~19
	授業案	p. 20
	情報の整理	p. 21
	スラッシュ入り本文	p. 22
	Easy Version／サマリー	p. 23
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p. 24
指導者用デジタル教科書（教材）	p. 25	
 <p>ビスタ英語 コミュニケーション</p>	指導用各種データ一覧	pp. 26~27
	解説と指導PDF	p. 28
	題材資料	p. 29
	評価問題（基礎確認ワークシートを含む）	pp. 30~31
	かな発音付き本文／スラッシュ入り本文（サイトラ用）	p. 32
	Easy Version／穴あきサマリー	p. 33
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p. 34
	指導者用デジタル教科書（教材）	p. 35
	評価支援ツール・データ活用紹介	pp. 36~37
ことまな学校サポートサイト案内	裏表紙	

## ■ラインナップ

1	CROWN English Communication I New Edition Teacher's Manual
2	MY WAY English Communication I New Edition Teacher's Manual
3	VISTA English Communication I New Edition Teacher's Manual

## ■共通した特徴

### ① 使いやすい三点構成！

Teacher's Manualは、いずれの書名も以下の3点で構成されています。

- ① 解説と指導（冊子）
- ② Teacher's Book（冊子）※分売可
- ③ 指導用データ（ダウンロード）※ROMでの提供にも対応

授業準備、および実際の授業に必要な十分な資料・データ類が揃っています。

### ② 指導者用デジタル教科書（教材）が同梱！

いずれの書名にも、使い勝手のよい「指導者用デジタル教科書（教材）」が同梱（＝利用権が付与）されています。

紙面提示・拡大表示や音声再生、フラッシュカードほか、充実した指導用コンテンツを、追加の費用負担なしでお使いいただけます。

Windows PC・iPadで利用できるほか、Chromebookでの利用を含めたブラウザ版にも対応しています。

### ③ 多種多様なテスト問題を用意！

それぞれの教科書に応じ、基礎から入試レベルまで、読解問題からパフォーマンステストまで、多種多様なテスト問題データが収録されています。Googleフォームで出題・解答を集約する際のテンプレートもご用意しています。

# 指導用各種データ一覧



## ■ レッスンごとのデータ

※IIでは内容が一部変更になります。  
※ReadingとOptional Lessonは一部内容が異なります。

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF	p.5
2	評価問題	①確認問題	セクションの語彙・文法等を確認する問題	
		②本文を使った長文問題	セクションの本文を長文に見立てた問題	
		③総合問題A	レッスンの総合問題	p.6
		④総合問題B	英検形式の4択問題（語彙・表現＋本文理解）	
		⑤総合問題C	読解力をはかる発展的総合問題	p.7
		⑥EYPを使った長文問題	Expand Your Perspectiveを入試長文に模した総合問題	
		⑦題材関連英文を使った長文問題	レッスンの題材に関連した英文と内容理解問題	
3	教科書本文	①教科書データ	教科書本文のすべてを収録	
		②本文データ	レッスン本文のみのデータ	
		③通し読みシート	セクション分けせずに読むためのシート（内容確認問題付き）	p.9
4	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文A	標準的な長さに区切ったもの	
		②スラッシュ入り本文B（訳付き）	和訳をつけたもの（Word）	p.10
		③スラッシュ入り本文C（訳付き）	和訳をつけたもの（Excel）	
5	穴あき本文	①穴あき本文A（新出語）	新出語部分が穴あき	
		②穴あき本文B（新出語の頭文字入り）	（ ）内に最初の1文字入り	
		③穴あき本文C（訳付き）	（ ）に訳を付したもの	
		④穴あき本文D（ディクテーション）	ディクテーション用に新出語・内容語を穴あきにしたシート	
6	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの	p.11
7	訳文	①訳文A（意訳）	教科書本文の意訳	
		②訳文B（逐語訳）	教科書本文の逐語訳	
		③訳文C（Wrap It Up! Step 1）	各課のWrap It Up! Step 1の意訳	
		④訳文D（Expand Your Perspective）	各課のExpand Your Perspectiveの意訳	
8	本文理解・サマリー	①補充Q&A	各セクションの補充Q&A	
		②TF	各セクションの補充TF。音声なし	
		③サマリーA（英語・日本語）	レッスン全体および各セクションのサマリー（英語＋日本語訳）	p.11
		④サマリーB（穴あき）	セクションごとのサマリーの一部を（ ）にしたもの	
		⑤情報の整理A（日本語）	パラグラフごとの情報の整理（日本語）	
		⑥情報の整理B（英語）	パラグラフごとの情報の整理（英語）	
		⑦構文分析シート	本文1文ずつに解説を付したもの	p.10
9	その他	①Watch the Videoスクリプト	各レッスンのWatch the Videoのスクリプト	
		②Oral Introduction	各セクションのOral Introductionのスクリプト	
		③活動用ワークシート（Wrap It Up!）	課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート	p.12
		④評価ループリック案	言語活動の評価に使えるループリック	p.12
		⑤文法等チェック	各レッスンで学習した文法の確認問題	
		⑥原典	原典（ある課のみ）	
10	図版	リテリング活動用図版	リテリング用イラストの画像データ リテリングシート（Word）	

11	ワークブック	①ワークブック スタンダード版	スタンダード版の文字データ	
		②ワークブック アドバンスド版	アドバンスド版の文字データ	
		③サブノート	サブノートの文字データ	
		④音声	ワークブック、サブノートの音声	
12	投影用データ	①本文	パラグラフごとに1スライド	
		②本文（1文ごと）	1文ごとに区切られた本文と和訳	p.12
		③本文（スラッシュ）	スラッシュで区切られた本文と和訳	
		④Q&A_TF	教科書の各セクションのQ、TF、Choose&Discuss、コミュニケーション活動の文字と解答	p.12
		⑤単語フラッシュカード	新出語・新出熟語（フラッシュカード形式）	p.12
13	ポキャブラリー	①単語・熟語リストA	新出語・新出熟語リスト。例文つき（Word）	
		②単語・熟語リストB	新出語・新出熟語リスト。例文つき（Excel）	
		③単語リスト（英英）	英語の語釈から語を解答する問題形式	
		④クロスワードパズル（英英）	英語の語釈と単語を結びつけるクロスワードパズル形式のシート	
		⑤関連語・派生語リスト	セクションごとの関連語・派生語リスト（Excel）	
14	Expand Your Perspective	①本文	Expand Your Perspectiveの本文データ	
		②Q&A	英問英答のQ&A	
		③TF	内容理解を問うTF	

## ■ 各レッスン外のデータ

15	その他教科書テキスト	①Reading Skill	各コーナーの文字データ	
		②Conversation Skill		
		③Sound Studio		
		④Useful Expressions		
		⑤接続詞の用法と用例		
16	単語リスト他	①単語リスト	全新出語の英英語訳データ。CEFR-Jレベルつき	
		②熟語リスト	教科書傍注・脚注の全熟語リスト（出現順）	
17	その他テスト	①パフォーマンステスト	全3回分。スピーキングとライティングのテスト	
		②リスニングテスト	全3回分。音声データと解答シート	
		③大学入学共通テスト型問題	全3回分	
		④定期テスト案	「知技」「思判表」を明記した定期テスト案	
18	授業案	①授業案	授業案、クラスルーム英語一部ワークシートあり（Word）	p.8
		②授業展開アイデア	授業をより充実させるための工夫や活動例	
19	教科書紙面PDF			
20	教師用指導書『解説と指導』紙面PDF		p.4	
21	『コーパス・クラウン総合英語第2版』紙面PDF			

## ■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書（教師用）『ウィズダム英和辞典第4版』『ウィズダム和英辞典第3版』『エースクラウン英和辞典第3版』	
2	評価支援ツール（観点別評価～評定換算表）	p.36
3	指導者用デジタル教科書（教材）	p.13
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」	p.38
5	Googleフォーム解管用フォーム（評価問題/ワークブックに対応）	

▶ Teacher's Manual の冊子『解説と指導』の紙面PDFが付属しています。本文検索が可能で、学習事項のインデックスとしてもお使いいただけます。

## Lesson 3 Hatching the Egg of Hope

### 1 原典

本課はさまざまな資料を参考に編集委員会がまとめたのち、ミヤザキケンスケ氏の監修を得た。

### 2 本課の内容 題材

本課では、アーティスト・ミヤザキケンスケを取り上げる。ひとことに「アーティスト」や「画家」といってもそのタイプや得意とするジャンルはさまざまである。ミヤザキが得意とするのは巨大な「壁画」である。ミヤザキは現在、世界中で壁画を残す活動「Over the Wall」を主催している。これまでケニア、東ティモール、ウクライナなどを訪れ、現地の人々とともに大きな壁画を残してきた。また、日本の子どもたちと現地の子どもたちとの交流やワークショップをおこなうなど、絵を通して世界を繋ぎ、人々を笑顔にすることをモットーに精力的に活動している。

ミヤザキの作品のテーマはSuper Happyである。そのテーマの通り、ミヤザキの描く絵の大きな特徴は、人々を圧倒するほどの鮮やかな色彩と、見た人を明るく優しい気持ちにさせることである。Over the Wallが訪れるのは、貧困地、紛争地、刑務所、病院などである。人生や生活が困難な場所で、ミヤザキは絵を通して現地に笑顔の花を咲かせるべく活動している。

本課では、ミヤザキが絵を志したきっかけやOver the Wallの活動と、その活動を始めたきっかけについて描いた。ミヤザキのアーティストとして、またひとりの人間としての成長を楽しみながら読み進めると同時に、色鮮やかな写真にもぜひ注目していただきたい。

### Focus Question

Does art have the power to appeal to our hearts and connect people?

「アートには、私たちの心に訴えかけ、人と人とをつなぐ力があるか」

### 言語活動

#### ● Wrap It Up!

アートには人の心に訴えかけて、人と人とをつなぐ力があるか、聞いたり、話したり、書いたりしながら、自分なりの考えや意見をまとめて、伝え合う活動をおこなう。

#### ● Expand Your Perspective (347語)

戦争で破壊された壁画についての文章を読んだあと、その壁画をミヤザキケンスケはどうすると思うか、話し合っ意見を交換する活動をおこなう。また、バンクシーの壁画を見て、そのメッセージは何か、グループで話し合って、自分の考えを伝え合う活動をおこなう。

### 言語材料

#### ● 本文

Section	ターゲット文	語数	新語数
1	<p>1.6 G-1〈関係代名詞〉: People <b>who</b> passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language.</p> <p>1.19 G-2〈分詞の形容詞的用法〉: But I was from an ordinary family <b>living</b> an ordinary life.</p>	209	10
2	1.8 G-3〈受動態〉: The children <b>are frightened</b> by the dragon.	183	12

▶ 各レッスンに題材資料をご用意しています。題材に関連する情報や、参考文献・ウェブサイトのURLなども掲載しています。

### Lesson 3 Hatching the Egg of Hope

ミヤザキケンスケ

**■経歴**  
ミヤザキケンスケ氏は、壁画を主に手がける画家です。1978年、佐賀県佐賀市に生まれました。佐賀県立佐賀北高校芸術コースで絵を学び、筑波大学芸術専門学群、同大学院修士課程芸術研究科へ進学しました。その後渡米し、2年間、ロンドンでアーティストとして活動してまいりました。Super Happy をテーマに、観客が見た瞬間に幸せになれる作品をめざして創作活動を続けています。その一環として、世界中に壁画を残す活動「Over the Wall」を主宰し、2015年から毎年世界各地の人々といっしょに壁画を制作しています。また、自身が描いた絵の複製を売ったり、商業施設などを訪ねてライブペインティングを披露したりするほか、学校でのワークショップなどにも携わり、多岐に活動しています。

**■高校時代**  
ミヤザキ氏は15歳のとき、「一度きりの人生をドリームワークに生きよう」と決意しました。小さな町で、サラリーマンの父と専業主婦の母のもと育ったミヤザキ氏は、そのまっぴらなサラリーマンになってしまふの嫌で感じていました。ドリームワークに生きるには、自分が本当にやりたいことをやるのが一番だと思い、必死で考えた結果、思い浮かんだのが「絵」でした。小さいころから絵が好きで賞を取ったこともあったため、絵描きになろうと決心し、佐賀県内で唯一芸術コースがあった佐賀北高校へ進学しました。

しかし入学後、予想と違う環境に直面しました。女子生徒が9割を占める環境で、男子生徒はたった6人でした。うまく環境になじめず、ひたすらデッサンが続く授業に違和感を感じていたミヤザキ氏は、バンド活動に行き込む生活を送りました。高3の春休みごろ、絵を描きたくて腐った芸術コースを退学したにもかかわらず、真面目に絵に向き合っていないことを反省する気持ちが芽生え、それから

は本気で絵を学ぶようになりました。大学進学を決めたミヤザキ氏は、絵描きになることを真剣に意識するようになりました。しかし、そのためになにをすべきかわからず、「芸術といえどバカ」という罵詈雑言が、パリで勉強したいと考えました。ミヤザキ氏は短期に援助を頼みますが、却下されます。それでも粘り強く歩いてきたところ、高校3年生になる春休み、ベルギーの親戚の家に、2週間行かせてもらえることになりました。

ベルギー滞在中、街角でスケッチをしていると、道行く人が絵を見てリアクションしてくれました。ミヤザキ氏はそれが嬉しく、またそれまで絵のためと思ってやっていたスケッチが、言語の壁を超えてコミュニケーションできるツールであることに気づきました。この気づきは、ミヤザキ氏が現在携わる壁画プロジェクトの原点となりました。ベルギーでの経験で自信が湧いたミヤザキ氏は、その後筑波大学芸術専門学群へ進学しました。

**■大学・大学進学**  
大学に入ったミヤザキ氏は、再び壁に当たりました。モードファッションやグラフィックなど、高校生と違って基礎的なことを毎日習せられた。自分より上手な人が大勢いることにも、うまく描けず先生に批判されることもショックを受けました。加えて、有名な実業家に出会ったというのが現実です。高校・大学時代は、絵を描くことを業として生計を立てられる人はごくわずかというのが現実です。高校・大学時代は、絵を描くことを業として生計を立てられる人はごくわずかというのが現実です。高校・大学時代は、絵を描くことを業として生計を立てられる人はごくわずかというのが現実です。

**■ロンドンへ**  
大学院卒業後、ミヤザキ氏はロンドンへ渡りました。本日はアメリカへ行きかけたのですが、美術館の学校に入る資金がなかったため、学生・教員費でない限りも滞在できるワーキングホリデー制度がある国を選びました。学生でも労働者でもないミヤザキ氏は、銀行口座も作れず電話も持たず、家を借りることもできませんでした。さらに到着し

ちがった絵で絵を作り、現地に絵が落ちるシステムになっています。そのほかには、製品化するデザイナーやウェブ制作担当、資金集めイベントを手伝ってくれる人、翻訳者などでも成り立っています。1月1日ほどミーティングをおこない、年に1回、世界のどこかの国で壁画を描くというプロジェクトをおこなっています。

**Over the Wall プロジェクトの実績**

**■東ティモールの壁画活動 (2016年)**  
2015年5月、国連難民救済委員会が関与した壁画プロジェクトが、ライブペイントやワークショップをおこなうことになりました。すると東ティモールの元大統領や日本人の元大統領、「他立後でもない東ティモールでこのような活動をしてほしい」と頼まれました。

ミヤザキ氏は東ティモールについて勉強したり、また現地 NGO と連絡を取り合ったりして準備を進め、2016年、現地へ入りました。そして首都ゲイラに滞在し、国立病院の壁に東ティモールの明るい未来を描きました。病院や小学校などでも、子どもたちを対象としたワークショップをおこなうことになりました。

**■ウクライナでの UNHCR との共同制作 (2017年)**  
ウクライナは、ロシア軍の侵襲にさらされている国です。2014年、ウクライナ政府と親ロシア派勢力の間で深刻な紛争が発生しました。

2017年、ミヤザキ氏は、日本とウクライナの外務省関係立25周年にあたる行事に参加しました。そして、首都キーウに、日本・ウクライナ友好の壁画を描きました。この際、絵筆をもとにしたのは、内戦が収まらない近隣国、シリアやアフガニスタン

の難民の子供たちでした。またウクライナ難民で国内避難民となった子どもたちも参加しました。

ウクライナ東部にあるマリウポリ市は、ウクライナ難民で被害を受けた都市でもあります。その難民の壁に壁画を受け、準備がまだ間に合えば、School NO.68に、平和のメッセージを込めた壁画を描く仕事もミヤザキ氏は頼まれました。これはウクライナ人の UNHCR (The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees: 国連難民救済委員会) との共同制作でした。

数キロ先では戦闘がおこなわれている戦域地帯にある School NO.68に絵を描くことで、ミヤザキ氏はウクライナ代表「ほふく」をテーマにした絵を金庫しました。これは、寒い冬の日、さまざまな動物たちが手袋の中に入っしよに入っしよに入っしよ、というお話です。その光景にミヤザキ氏は、多様な人々が共存できる世界への願いを込めました。

**■エクアドルの女性刑務所 (2018年)**  
南米のエクアドルと日本は、2018年、外交関係樹立100周年を迎えました。その祝賀事業として、ミヤザキ氏に壁画制作のオファーが来ました。

エクアドルの首都キトにある女性刑務所には、当時の60名の受刑者が収容されています。この施設には、受刑者の子どもを預かる施設があり、施設外には身よりのない「洗髪・幼児」約40名も、刑務所の母とも生活してまいりました。その子どもたちも少いながらも通ってもらうため、また母職たちの社会復帰を支援したいという思いでプロジェクトを企画しました。

**■ハイチの環境なき医師病院 (2019年)**  
2019年には、ハイチの首都ポルトープランスにある最大のスラム街のひとつ、シテ・ソレイユにて

て一週間で完成を遂げました。家賃が払えないため、ゲストハウスの担当管理員になり、狭い管理人家で絵を描きながら過ごしました。インターネットで絵の注文を募り、わずかなお金を得る雑居生活でした。作品を公開できる場所もなく、クラブやライブハウスをまわってライブイベントを披露したり、路上で絵を描いていました。

当時のミヤザキ氏は、社会への反感や怒りを感じさせるような攻撃的な壁画の絵を描いていました。そのような絵こそがアートだといふ思い込みがあったといえます。しかし、路上で芸術活動をする者たちと親しくなるにつれ、違和感を覚えるようになりまし。彼らは社会に対して「マダマのような怒り」を抱いており、それを絵という形で表現せざるにはいけないと感じていました。一方、ミヤザキ氏は家にもも同僚の友人に誘われて生きてきました。ミヤザキ氏は、自分の身の回りは、単なるファッションにすぎなかったことに気づきました。

ミヤザキ氏は疑問を抱きつつも、ダークな絵を描いていました。一方で生計のためには絵は、結構よく売れる絵を描く必要がありました。観客の注文が来た時は、一方生計のためには絵は、結構よく売れる絵を描く必要がありました。観客の注文が来た時は、一方生計のためには絵は、結構よく売れる絵を描く必要がありました。観客の注文が来た時は、一方生計のためには絵は、結構よく売れる絵を描く必要がありました。

**■ケニアのスラム街での壁画プロジェクト**  
ロンドンでの暮らが終わりに近づいていた2006年、ミヤザキ氏はテレビ番組で、ケニアにあるマゴスタームスラムのことがわかりました。その小学校は、マゴスタームスラムという最大のスラム街にあり、再建を乞うたり、維持されたり。行き場のない子どもたちの居場所となっていました。

ミヤザキ氏は、若い頃通ったケニアを自分の絵で少しでも明るく完結したいと感じました。いろいろと調べたり、ケニア在住の日本人ライターに協力してもらったりして、マゴスタームスラム

に壁画を描き、壁画を描かせてもらうことになりました。当時のミヤザキ氏は、絵描きとして、自分の絵に他人の手を借りてはいけないと思っていました。また「自分の描きたいものを描くことがアートだ」という固定観念もありました。そこで、大きな口を開けたドラゴンの絵を毎日一人一人に描いて、ドラゴンの壁面が子どもたちに大人気だったため、マゴスタームスラムでもっとも喜んでもらえるだろうと考えました。しかし、見ている人たちはあまり喜んでくれない。そこそこ空気が冷たくなってきたように感じました。ケニアではドラゴンという架空の生き物は知られず、子どもたちの目には、身近に見える危険な生き物であるアナコンダ (巨大なヘビ) のように映ったのです。先生からは、描いてはダメだと言われました。

ミヤザキ氏は絵の描き直しに取り掛かりました。しかし、滞在期間が残り1週間になっていて、一人では描き直しは不可能でした。やむを得ず、子どもたちにもお願いすることにしました。また一つは、子どもたちが好きなライオンやバブバ (熱帯アフリカに生息する高木) にしました。

意外なことに、これが大成功につながりました。子どもたちはとても喜び、絵を描く前より明るくなったのです。ミヤザキ氏の中で、それまでのアートに対する固定観念が崩れ去りました。人が見てふぶ絵を描くことの大切さを感じました。また大勢で描くと、芸術としてのクオリティはやや下がれるけれども、それ以上の一体感や完成の喜びが生まれることもわかりました。

この感動や、このとき生まれた人間関係が、のちのミヤザキ氏の壁画プロジェクトへとつながってまいりました。

# ■ 評価問題 (思判表シートを含む)

▶ 本文を使った総合問題のほか、初見の関連英文を用いた問題、パフォーマンステスト、大学入学共通テスト型問題など、豊富にご用意しています。

**Lesson 3 総合問題 A**  
Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

● 指定された文字で始めて、次の定義にあてはまる英語1語を書きなさい。(2点×6)

- a strong feeling that you have when you have an unhappy experience (a)
- a person who is invited to someone's home (g)
- to cause so much damage to something (d) 注 damage 被害
- the act of working together with another person or group to produce something (c)
- a child who lost his or her parents (a)
- a process in which someone makes something happen or exist (c)

1.( ) 2.( ) 3.( )  
4.( ) 5.( ) 6.( )

● 日本語を参考に、( ) に適切な語を入れなさい。指定があればその文字で始めなさい。(2点×7)

- その兄弟は危険に直面しても落ち着いていた。  
The brothers kept cool in ( ) ( ) ( ) danger.
- 自動車事故から回復した時、私は医師になろうと決めました。  
I ( ) ( ) ( ) ( ) to be a doctor when I recovered from the car accident.
- ひょっとしてこの写真の女性をご存じではありませんか。  
Do you ( h ) ( ) ( ) know the woman in this picture?
- その事故はジェーンと僕を引き合わせてくれた。  
The accident ( b ) Jane and me ( ) .
- この映画は、ある有名な俳優が書いた物語が元になっている。  
This movie ( ) ( ) ( ) a story written by a famous actor.
- グラフAによれば、約40パーセントの生徒が自転車ですぐ学校に来る。  
( ) ( ) Graph A, about 40% of the students come to school by bike.
- 私たちはケイトだけでなくアンディにも電話をかける必要がある。  
We need to call ( ) ( ) Kate ( ) ( ) Andy.

● 以下の文を読んで設問に答えなさい。(合計50点)

Mariupol was not a safe place for an art project. But ( ア ) my surprise, when I ( あ ) painting, children came out ( イ ) nowhere to join me.

We painted a big mitten. The idea is based ( ウ ) a popular Ukrainian story, *The Mitten*. In the story, one snowy night, an old man ( い ) his mitten. A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals climb into the mitten to stay warm.

In our painting, you ( う ) people from all over the world ( of / huge mitten / sharing / a / the / warmth ). It is decorated with ( which / Easter eggs / life / and hope / represent ). Our painting ( え ) that people's warm hearts can hatch the egg of hope and bring a peaceful life ( え ) us all.

I still do not ( お ) a clear answer to the question: Who am I as a person and as an artist? But one thing has become clear: my art has the power to make people "super happy."

- (ア) ~ (エ) に入れるのもっとも適切なものを①~④から選び、その記号を○で囲みなさい。(3点×4)

(ア) ① for	② to	③ in	④ at
(イ) ① of	② from	③ for	④ to
(ウ) ① on	② in	③ for	④ at
(エ) ① into	② from	③ with	④ to

- (あ) ~ (お) に入れるのもっとも適切なものを□から選びなさい。必要に応じて適切な形(1語)にすること。(3点×5)

have	drop	see	show	start	ask
------	------	-----	------	-------	-----

(あ) ( ) (イ) ( ) (ウ) ( )  
(え) ( ) (お) ( )

- 下線部①②の( )内の語句を、意味が通るように並べかきなさい。(各4点)

① [ \_\_\_\_\_ ]  
② [ \_\_\_\_\_ ]

- ミヤザキさんがずっと自分に対して問いかけてきた問いは何か日本語で答えなさい。(5点)

[ \_\_\_\_\_ ]

- 本文の内容について、次の問いに英語で答えなさい。(各5点)

A. What is the question which he has long asked himself?  
[ \_\_\_\_\_ ]

B. What is the thing that has become clear to Miyazaki?  
[ \_\_\_\_\_ ]

- ( ) 内の語句を使って、次の文を英語にしなさい。( ) 内の語句は必要に応じて適切な形にすること。(4点×6)

  - 驚いたことに、先週の土曜日私たちのチームは決勝でその強豪チームに勝ちました。(strong team, final)  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - 週末には私はテレビゲームをして多くの時間を過ごしました。(video game)  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - 居間は彼らが世界中で買ったたくさんのもので飾られています。(living room)  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - これは昨晚祖父が話してくれた物語です。(which, by)  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - あそこにいる少年をごらんください。彼は両親が宇宙飛行士である少年です。(whose, astronaut)  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - 彼女は目が覚めたとき、自分が保健室にいると気づいた。(oneself, the nurse's office)  
[ \_\_\_\_\_ ]

**Lesson 3 総合問題 C**  
Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

● 以下の文を読んで、設問に答えなさい。(6点×4=24点)

For Miyazaki Kensuke, art is a way to share happiness with people all over the world. He sees life as a journey to discover an answer to the question: Who am I as a person and as an artist?

I've always loved painting. During a spring break in high school, I visited Belgium for two weeks. I spent my time painting on the streets. People who passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language. I realized the power of art to bring people together.

In college, I had a dream. I wanted people all over the world to recognize me as a great artist. After graduating, I went to London to become famous.

In London, I lived and worked part-time in a guest house. I didn't have much money. No gallery accepted my paintings.

My street artist friends and I thought it was cool to look angry. They were expressing their anger at social injustice, and their anger was real. But I was from an ordinary family living an ordinary life. ① I wasn't angry at all.

I was in London for two years, but still I wasn't a famous artist. I decided I had to find a different way of expressing myself.

- 下線部①の内容を表す以下の英語を完成させなさい。  
the language spoken [ \_\_\_\_\_ ]
- 下線部②のようにミヤザキさんが感じた理由を、日本語で書きなさい。  
[ \_\_\_\_\_ ]
- 次の英文が本文の内容に合うように、[ ] に適する語句を抜き出して答えなさい。  
Art means [ \_\_\_\_\_ ] to Miyazaki Kensuke.
- 本文の内容に合うものをa~cから1つ選び、記号を○で囲みなさい。  
a) After graduating from college, Miyazaki Kensuke went to London to realize his dream of becoming a great artist.  
b) Miyazaki Kensuke had a part-time job to live in a big house in London.  
c) In London, there was a gallery which recognized Miyazaki Kensuke's talent in painting.

● 以下の文を読んで、設問に答えなさい。(合計22点)

In London, I happened to watch a TV program about a school for orphans and street children in Nairobi, Kenya. The children looked unhappy. I suddenly felt an urge to go to Kenya and paint something for those children.

It wasn't easy, but finally in 2006, I got to Kenya, found the school, and was able to paint for the children. I painted an angry dragon. I was happy with it, but a teacher complained, "The children are frightened by the dragon. Some of them refuse to come to school." The children

thought that it was a big snake. They did not know that dragons are imaginary. I asked them, "What would you like me to paint?" "Lions!" "Baobabs!" I asked the children to help me, and we had a lot of fun painting together. According to the teachers, the children became more active than before.

That was a turning point in my career. Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. I made up my mind to do a painting project every year in different parts of the world.

- 下線部①の内容を、日本語で簡潔に説明しなさい。(6点)  
[ \_\_\_\_\_ ]
- 次のア~エの( ) 内に下から適切な語を選び、本文の内容に合う文を完成しなさい。(4点×4=16点)

In London, when Miyazaki Kensuke saw a TV program about ( ア ) children in a school in Kenya, he had a sudden urge to help them. In 2006, he found the school. He tried to make the children happy by painting for them. However, when the children saw his painting of a ( イ ), they were frightened. But when they painted together, the children became ( ウ ). That was a ( エ ) which changed his life. 注) sudden 突然の

place snake dragon moment poor active angry  
ア [ ] イ [ ] ウ [ ] エ [ ]

- 以下の文を読んで設問に答えなさい。(6点×4=24点)

In 2011, after the Great East Japan Earthquake, I joined a volunteer group in Sendai. Because schools were closed, children had nothing to do. They looked bored. I thought my painting project might cheer them up. I started working with these children. We painted the walls of a school.

A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop. I not only made the sign but also painted his whole shop in bright colors! ① I had doubts about the usefulness of my art project, but I did not want to think that art has no power in the face of disaster. Money and supplies that people donate can be of great help. But working together on a painting and sharing the joy of creation can also help. People can laugh and smile even in the worst conditions.

In 2017, I found myself in Mariupol, Ukraine. A war was going on. It was a very dangerous place. People were dying every day. I saw shell holes everywhere and buildings destroyed by bombs.

  - 下線部①に関して、ミヤザキさんが考えたくないと思ったことは何か、日本語で書きなさい。  
[ \_\_\_\_\_ ]
  - ミヤザキさんがウクライナに行ったときの状況を次のように表すとき、空所に適する日本語を書きなさい。(①②それぞれ得点)

**Lesson 3 総合問題 A 解答**

● 1. anger 2. guest 3. destroy 4. collaboration 5. orphan 6. creation

● 1. the face of 2. made up my mind 3. happen to 4. brought, together  
5. is based on 6. According to 7. not only, but also

● 1. (ア) ② (イ) ① (ウ) ① (エ) ④  
2. (あ) started (い) drops (う) see (え) shows (お) have  
3. ① sharing the warmth of a huge mitten  
② Easter eggs which represent life and hope  
4. 私は人間として、芸術家として何者なのか  
5. A. It is "Who am I as a person and as an artist?"  
B. It is that his art has the power to make people "super happy."

● 1. To my[our] surprise, our team defeated the strong team in the final (game) last Saturday.  
2. Over the weekend I spent a lot of time playing video games.  
3. The living room is decorated with a lot of things (which/that) they bought all over the world.  
4. This is the[a] story which was told by my grandfather last night.  
5. Look at the boy over there. He is the boy whose parents are astronauts.  
6. When she woke up, she found herself in the nurse's office.

※以下の評価問題をご用意しています。

- 確認問題**  
セクションの語彙・文法等を確認する問題
- 本文を使った長文問題**  
セクションの本文を長文に見立てた問題
- 総合問題 A**  
レッスンの総合問題
- 総合問題 B**  
英検形式の4 択問題  
(語彙・表現+本文理解)
- 総合問題 C**  
読解力をはかる発展的総合問題
- EYPを使った長文問題**  
Expand Your Perspective を入試長文に  
模した総合問題
- 題材関連英文を使った長文問題**  
レッスン題材に関連した英文と内容理解問題

人々は① [ \_\_\_\_\_ ], いたるところに砲撃による穴と  
② [ \_\_\_\_\_ ]が見られた。

3. 次の質問に答えなさい。  
In Ofunato, what colors did Miyazaki Kensuke use to paint the whole barber shop?  
[ \_\_\_\_\_ ]

● 以下の文を読んで設問に答えなさい。(6点×5=30点)

Mariupol was not a safe place for an art project. But ① to my surprise, when I started painting, children came out of nowhere to join me.

We painted a big mitten. ② The idea is based on a popular Ukrainian story, *The Mitten*. In the story, one snowy night, an old man drops his mitten. ③ A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals climb into the mitten to stay warm.

In our painting, you see ④ people from all over the world sharing the warmth of ⑤ a huge mitten. It is decorated with ⑥ Easter eggs which represent life and hope. Our painting shows that people's warm hearts can hatch the egg of hope and bring a peaceful life to us all.

I still do not have a clear answer to the question: Who am I as a person and as an artist? But one thing has become clear: my art has the power to make people "super happy."

- 下線部①の原因を表す以下の文を完成させなさい。  
Miyazaki was surprised because children came out of nowhere to join him though Mariupol [ \_\_\_\_\_ ] .
- 下線部②は具体的に何を指すが、3語の英語で答えなさい。  
( ) ( ) ( )
- ミヤザキさんたちが描いた絵では、下線部③の代わりに何が描かれたか、6語で抜き出さなさい。  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- 絵柄(下線部④⑤⑥)の関係について簡単に述べた次の文を完成しなさい。(完答で6点)  
People's ( ア ) warmed by a huge mitten can ( イ ) Easter eggs representing ( ウ ) and ( エ ).  
(ア) ( ) (イ) ( ) (ウ) ( ) (エ) ( )
- 次の質問に答えなさい。  
What has Miyazaki believed about his art after several art projects?  
[ \_\_\_\_\_ ]

**Lesson 3 総合問題 C 解答例**

● 1) by people who passed by  
2) ミヤザキさんは、ふつうの生活を送るふつうの家に生まれたから。  
3) a way to share happiness with people all over the world  
4) a

● 1) ケニア、ナイロビの(不幸な)孤児やストリートチルドレン  
2) ア poor イ dragon ウ active エ moment

● 1. 芸術が大きな災害の前に無力であるということ  
2. ①毎日忙しくなっていて ②爆撃で破壊された建物  
3. He used bright colors (to paint it).

● 1. was not a safe place (for an art project)  
2. a big mitten  
3. people from all over the world  
4. ア hearts イ hatch ウ life エ hope (ウ、エは逆でもよい)  
5. He has believed (that) his art has the power to make people "super happy."

# 授業案

▶ レッスンやパートごとに、具体的な授業展開例や指導上の留意点などを提案しています。関連する指導用データについても示されており、授業の準備に役立ちます。

**CROWN English Communication I New Edition**  
**Lesson 3**  
**Hatching the Egg of Hope**  
授業案

▶ them = the children  
▶ refuse「～するのを断る、(どうしても)～しようとしない」

● 第1時(扉のページ)

項目(時間)	学習活動(指示・発問・説明)	活動のねらい/指導上の留意点等
導入 (5分)	授業開始の挨拶をする。 ウォーミングアップの実施。	各時の授業のウォーミングアップとして、なるべく生徒が自身の考えを英語で話す・書くような活動を実施する(たとえば、3分 speaking / writing など)。スローラーナーが対象の場合は、基本文法で構成された日本語訳付きダイアログ (e.g., Buzz Talk) の音読練習などで、文法事項を暗示的に導入したり、前時までに扱ったレッスンの本文を音読したりするのもよい。
Picture Description (5分)	pp. 40-41 に記載の見聞き写真を教室前方に投影し、生徒と英語でやり取りを行う (e.g., Look at this picture. What is this man doing? Yes. He is painting on a wall. Where do you think he is? Right. He is painting on the street. Do you think this is in Japan? Good thinking. Actually, this man is Japanese. His name is Miyazaki Kensuke. Why do you think he is painting on a wall, not on paper or in a museum? Yes. He wants many people to see his art. In this art, what is he drawing? Do you think there is a meaning in drawing it? Miyazaki Kensuke believes that art can make people happy even people from different countries.)	生徒のレベルに合わせて、英語の質問を投げかける場合、スローラーナーへは、絵を見てすぐにわかる質問 (例: What do you see in the picture?) を、習熟度の高い生徒へは、背景等を考える必要がある質問 (例: What do you think he wanted to tell people through this picture?) を投げかける。質問文は既習文法や語彙・表現を用いるが、あくまで目的はスキーマ活性化なので、複雑な構文を用いる必要はない。
レッスンの導入・展開 (25分)	1. p.40 の Focus Question Does art have the power to appeal to our hearts and connect people? を教室前方へ提示する。  2. p.41 の, Take a moment to Think/Watch the Video の内容に取り組み (教科書は開かさない)。中学校の美術の授業で、上手に描けたか) だけでなく、なぜその絵を描いたのかを考えたことがないか思い出させる。 例) What did you learn in your junior high school art classes? Did you also learn to express your feelings or ideas? Art is not only about being good at drawing. It is also about expressing yourself.  3. Fact File を活用するペア活動を行う。 教師が6つの国の位置のヒントを与えてペアで番号と国名をマッチングさせる活動を行う。教師は番号がふられ色で塗られた世界地図(6カ国)を提示する。教師は1つずつ国を取り上げ、大陸名やその国に近い有名国をヒントとして伝える。	生徒に中学校での美術の授業で学んだことを思い出させると共に、単に技術を学んだだけでなく、自分の気持ちや考えを表現するという視点があることも気づかせると良い。技能面(描く・色を使う)だけでなく、表現やアイデアの面にも視点を向けさせることで、本文に登場するミヤザキケンスケの芸術観(人を幸せにするための表現としてのアート)を理解する助けとなり、本文の各パートの内容理解や読解活動に向けた準備を行うことができる。  この活動では、色と番号で示された6つの国の地図を見ながら、ペアで相談して国名と番号をマッチングさせる。教師は大陸名やその国に近い有名国をヒントとして提示し、生徒が番号を特定しやすくする。各国を訪問した順に線をつなぐことで、時系列の理解を促し、本文を読む前に「どの国でいつ活動したか」を整理する

# 通し読みシート

▶ シートは、①本文、②内容確認問題、③英英語訳付きの新語一覧で構成されており、そのままプリントアウトしてすぐにお使いいただけます。

Lesson 3 通し読みシート

Lesson 3  
Hatching the Egg of Hope

For Miyazaki Kensuke, art is a way to share happiness with people all over the world. He sees life as a journey to discover an answer to the question: Who am I as a person and as an artist?

I've always loved painting. During a spring break in high school, I visited Belgium for two weeks. I spent my time painting on the streets. People who passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language. I realized the power of art to bring people together.

In college, I had a dream. I wanted people all over the world to recognize me as a great artist. After graduating, I went to London to become famous.

In London, I lived and worked part-time in a guest house. I didn't have much money. No gallery accepted my paintings.

My street artist friends and I thought it was cool to look angry. They were expressing their anger at social injustice, and their anger was real. But I was from an ordinary family living an ordinary life. I wasn't angry at all.

I was in London for two years, but still I wasn't a famous artist. I decided I had to find a different way of expressing myself.

In London, I happened to watch a TV program about a school for orphans and street children in Nairobi, Kenya. The children looked unhappy. I suddenly felt an urge to go to Kenya and paint something for those children.

It wasn't easy, but finally in 2006, I got to Kenya, found the school, and was able to paint for the children. I painted an angry dragon. I was happy with it, but a teacher complained, "The children are frightened by the dragon. Some of them refuse to come to school." The children thought that it was a big snake. They did not know that dragons are imaginary.

I asked them, "What would you like me to paint?"  
"Lions!" "Baobabs!"

I asked the children to help me, and we had a lot of fun painting together. According to the teachers, the children became more active than before.

That was a turning point in my career. Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. I made up my mind to do a painting project every year in different parts of the world.

In 2011, after the Great East Japan Earthquake, I joined a volunteer group in Sendai. Because schools were closed, children had nothing to do. They looked bored. I thought my painting project might cheer them up. I started working with these children. We painted the walls of a school.

A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop. I not only made the sign but also painted his whole shop in bright colors!

本文の通し読みは下記からもご利用いただけます。

- ・QRコードコンテンツ
- ・学習者用デジタル教科書
- ・サブノート

Lesson 3 通し読みシート

**First Reading**  
Read the following sentences. If the statement is true, mark it "T." If the statement is false, mark it "F."

- People in Belgium seemed happy to see Miyazaki's paintings. ( )
- In London, Miyazaki thought it was cool to look angry. ( )
- Miyazaki became famous while he was in London. ( )
- A school in Kenya invited Miyazaki to paint something for children. ( )
- Miyazaki was happy with the dragon he painted. ( )
- The children and Miyazaki enjoyed painting together. ( )
- Miyazaki thought his art project in Sendai might cheer the children up. ( )
- The barber asked Miyazaki to paint for his whole shop. ( )
- In 2017, Mariupol was not a safe place. ( )
- Miyazaki was surprised when many children came and helped him paint. ( )
- Easter eggs represent world peace. ( )
- Miyazaki found a clear answer to the question, "Who am I as a person and as an artist?" ( )

**Second Reading**  
Answer the following questions.

- How does Miyazaki Kensuke see life?  
\_\_\_\_\_
- What were Miyazaki's street artist friends expressing through their work?  
\_\_\_\_\_
- After being in London for two years, what did Miyazaki decide to do?  
\_\_\_\_\_
- Why did some of the children refuse to come to school?  
\_\_\_\_\_
- Who did Miyazaki ask for help with the painting?  
\_\_\_\_\_
- How did the children change when they painted together?  
\_\_\_\_\_
- Why were the children in Sendai bored?  
\_\_\_\_\_
- What did Miyazaki do for the barber in Ofunato?  
\_\_\_\_\_
- Both East Japan and Ukraine suffered from disasters. What were they?  
\_\_\_\_\_
- What did Miyazaki and the children paint in Mariupol?  
\_\_\_\_\_
- What does the painting show us?  
\_\_\_\_\_
- What is one thing that has become clear to Miyazaki?  
\_\_\_\_\_

WPM  
the number of words : 729 words / time ( ) × 60 × the number of the right answers of T/F questions ( ) / 12 questions

Your WPM = \_\_\_\_\_

## ラウンド制に対応した授業案とワークシートをご用意しました。

学習指導要領

英語科の目標は、言語の知識・技能の習得だけでなく、コミュニケーション能力の育成、文化理解の促進、国際社会への貢献の育成にあり、その達成のために、言語の知識・技能の習得、コミュニケーション能力の育成、文化理解の促進、国際社会への貢献の育成に努める。

Lesson 4 Turning off the Tap on Plastic Part 1 Worksheet

Focus Question: Plastic waste is increasing in the world. What can we do about it?

round 1 Vocabulary: Look at the vocabulary below

英	英	英	英	和
1	be polluted by	汚染される	plastic	プラスチック
2	be native to	固有の産物である	give it a try	試してみる
3	found on NPO	NPOを設立する	plastic waste	プラスチックごみ
4	pull a barrier through	障害物を引く	accumulation	蓄積
5	at this rate	このままでは	the Neatherlands	オランダ
6	Bayern State	バイエルン州	Greece	ギリシャ

round 2 Listening: Listen to the passage and answer the question.  
Did Star enjoy the beautiful sea in Greece?

round 3 Reading: Read the passage and create your organizer on the right side of the reading passage. If you have time left, answer the two questions.  
1. What is the mission of The Ocean Cleanup?  
2. The Ocean Cleanup has removed more than 0.2 percent of plastic. How do you think Star feels about this?

8. Very sad about the result.  
9. Totally satisfied with the achievement.  
10. More or less positive about the progress.

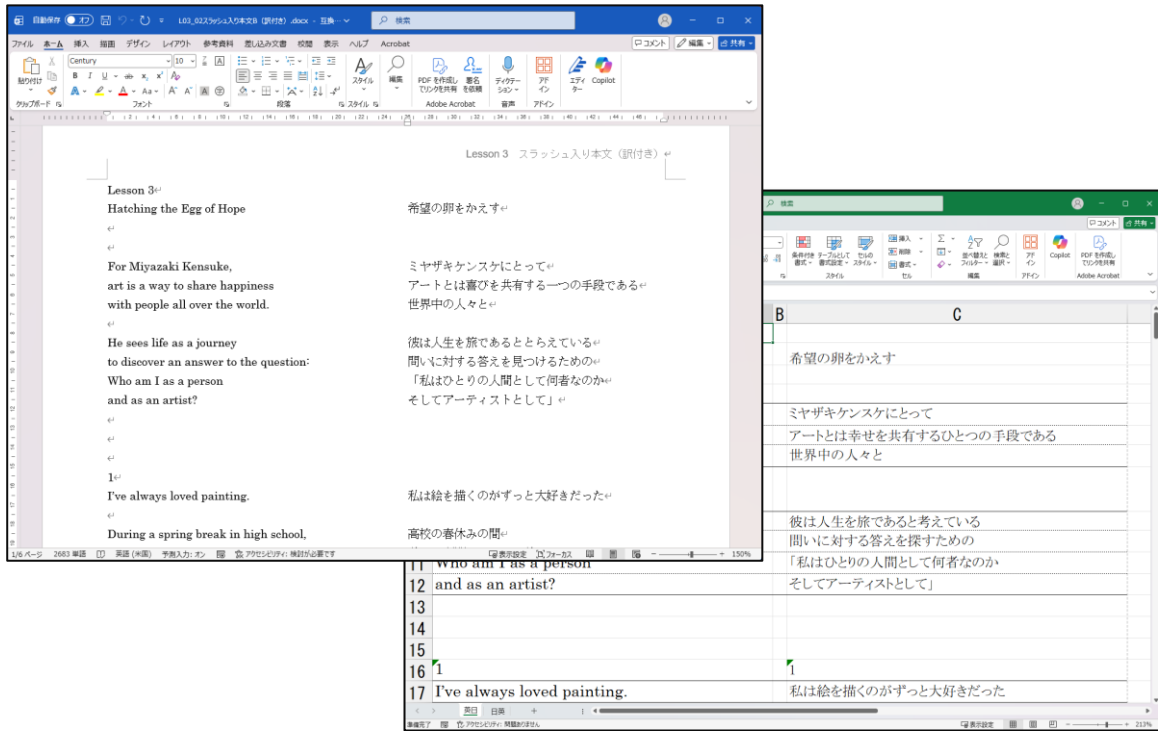
round 4 Read in Japanese  
round 5 Reading in detail: Translation  
1.5. However, it was totally different from what I had expected.

round 6 Reading about  
Homework: Practice retelling of part 1 (4.8.3.1.1. OK) using your own organizer. Suppose you are telling a story of Star to a person who doesn't know about him. Be careful about the personal pronoun (A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z).

(note for listening)

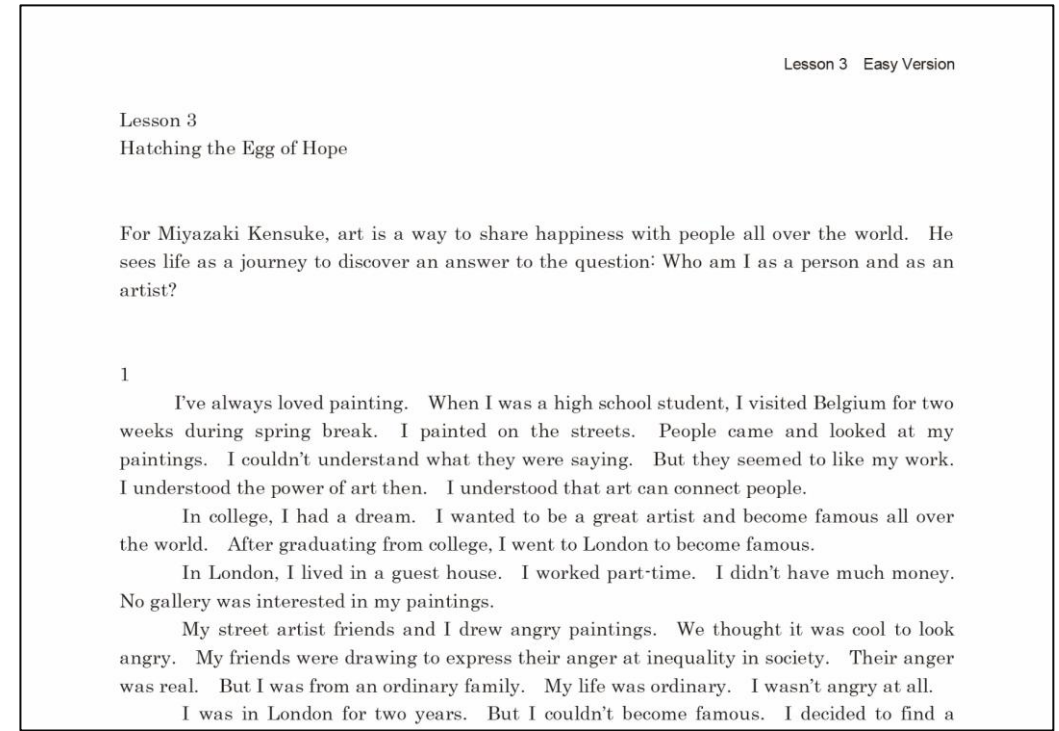
# ■スラッシュ入り本文

▶スラッシュ入り本文データは、標準的な長さに区切ったものと和訳をつけたもの (Word、Excel) をご用意しています。



# ■Easy Version / サマリー

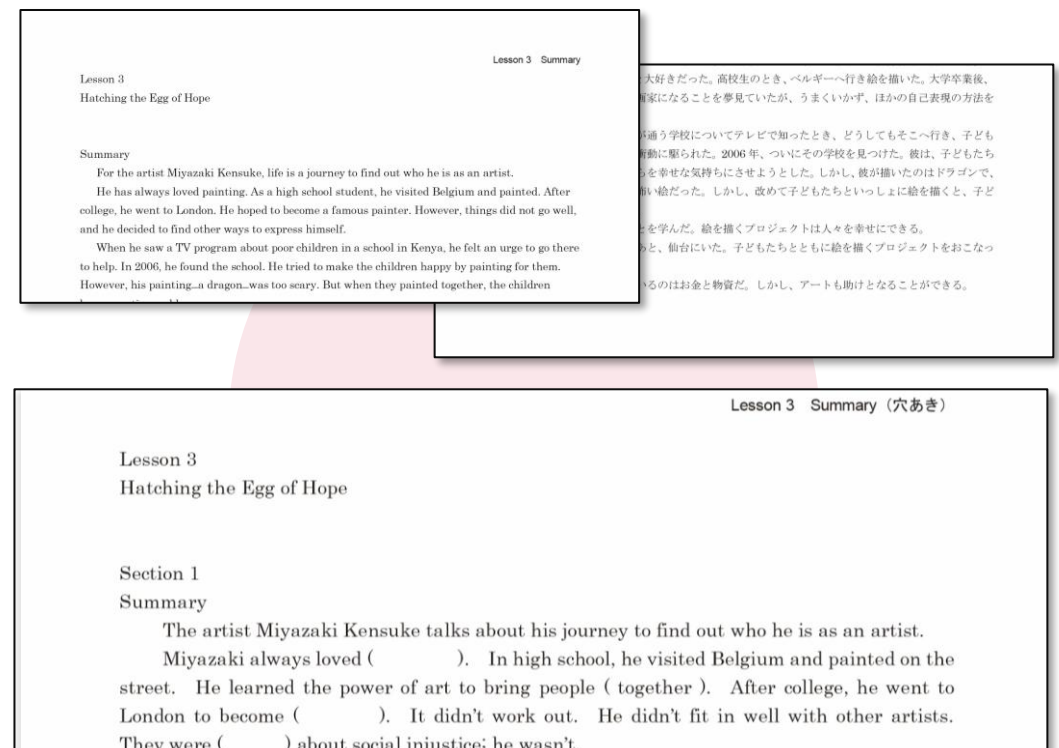
Easy Version▶本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。



構文分析シート：各文の文構造及び段落構成を解説したシートを、教師用指導書に収録しています。



サマリー▶レッスン全体のサマリー、各セッションごとのサマリー (英語日本語訳)、セッションごとのサマリーの一部を空欄にしたものをご用意しています。



# ■活動用WS／ルーブリック案／提示用パワーポイント

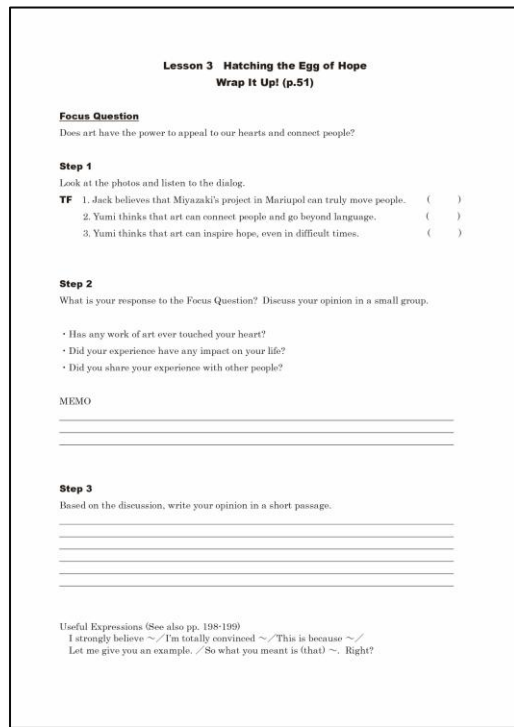
# ■指導者用デジタル教科書（教材）

教師用  
指導書  
同梱

クラウン英語コミュニケーション

クラウン英語コミュニケーション

活動用ワークシート▶ 課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート。



評価ルーブリック案▶ 言語活動の評価に使えるルーブリック。

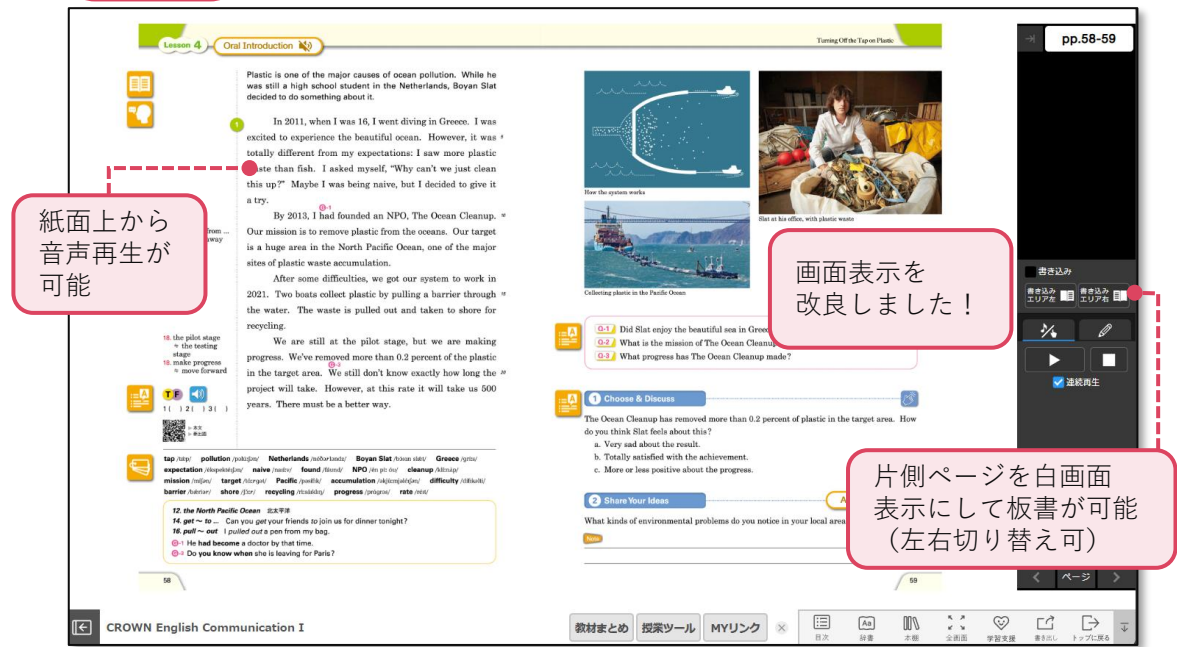
	A	B	C
知識・技能	【文法・語法】 文法・語法を正確に使っている。 【機能表現】 自分の意見を述べる表現や例をあげる表現などを適切に使っている。	【文法・語法】 文法・語法の使用に小さな誤りがある。 【機能表現】 自分の意見を述べる表現や例をあげる表現などを限定的に使っている。	Bを満たしていない。
思考・判断・表現	アートが持つ力について、理由や根拠を示しながら、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えたりしている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験を、具体例をあげるなどして、詳しく書いて伝えている。	アートが持つ力について、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えたりしている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験を、具体例をあげるなどして、詳しく書いて伝えている。	Bを満たしていない。
主体的に学習に取り組む態度	アートが持つ力について、理由や根拠を示しながら、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えたりしている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験を、具体例をあげるなどして、詳しく書いて伝えている。	アートが持つ力について、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えたりしている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験を、具体例をあげるなどして、詳しく書いて伝えている。	Bを満たしていない。

指導者用デジタル教科書（教材）▶ 多様なスタイルの授業展開を支えます。

アプリ版（PC、iPad）、クラウド版、それぞれで使うことができる指導者用デジタル教科書（教材）を教師用指導書に同梱！紙面表示・本文拡大表示や音声再生だけでなく、先生向けの機能やコンテンツを多数搭載し、テンポのよい授業展開を実現します。



紙面表示 紙面に設定されたアイコンから豊富なコンテンツを呼び出し可能

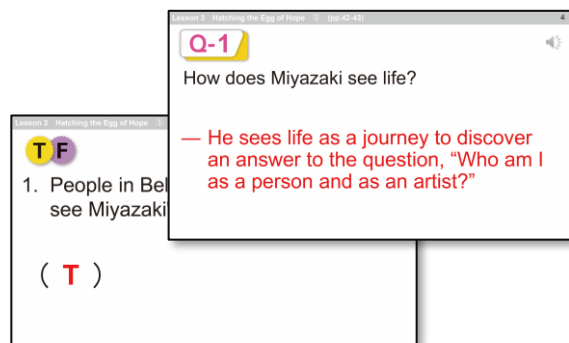
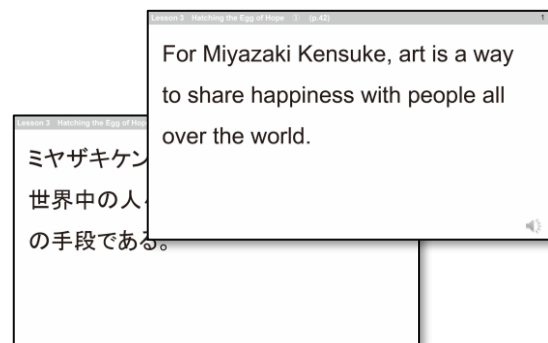
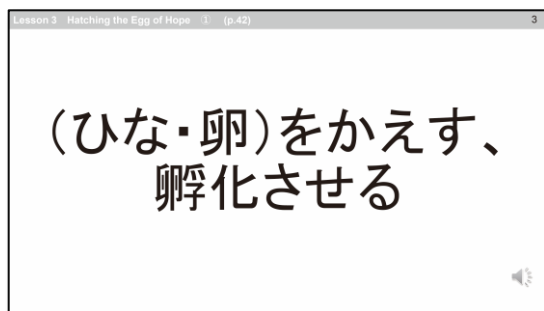


紙面上から音声再生が可能

画面表示を改良しました！

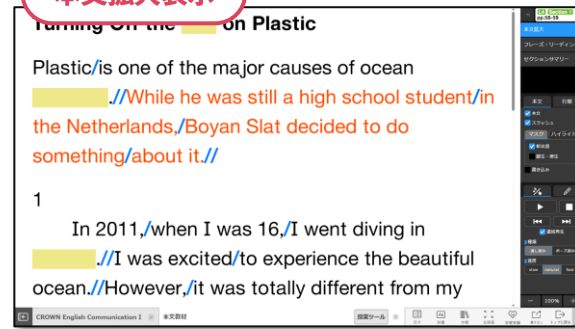
片側ページを白画面表示にして板書が可能（左右切り替え可）

提示用パワーポイント▶ 投影用データとして、各種パワーポイントをご用意しています。

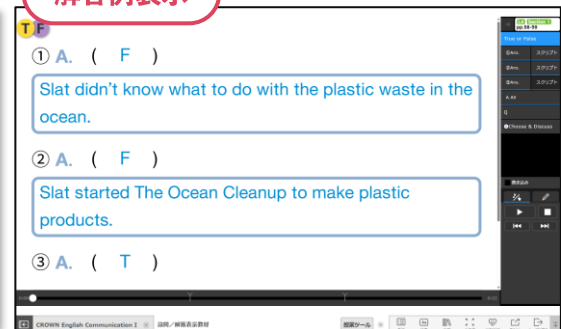


一文ごと、スラッシュごとの本文、単語フラッシュカード、Q&Aなどの音声付きパワーポイントデータです。カスタマイズ可能ですので、さまざまなシーンでご活用いただけます。

本文拡大表示



解答例表示

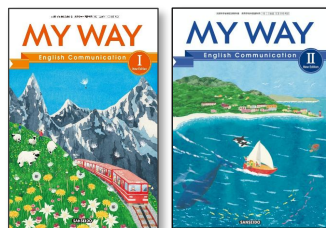


新出語フラッシュカード



- [主な機能]
- ・動画 (Watch the Video) の再生
  - ・Oral Introductionの音声再生
  - ・レッスン通し読み本文の表示・音声再生
  - ・フレーズリーディング表示
  - ・TF、Questions、リスニング問題の音声再生
  - ・セクションサマリーの表示・音声再生
  - ・リテリング用イラスト表示
  - ・各種タスクの解答表示/非表示
  - ・題材リンクの表示
  - ・授業ツール (タイマー、ストップウォッチ、ルーレット)
  - ・MY リンク (個別のリンク(URL)を保存できます)

# 指導用各種データ一覧



※IIでは内容が一部変更になります。  
※Readingは一部内容が異なります。

## ■ レッスンごとのデータ

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF	p.17
2	評価問題	①評価問題A1	文法・語彙・表現確認問題	pp.18-19
		②評価問題A2	本文を使った問題	
		③評価問題A3	本文を使った4択問題	
		④評価問題A4 (題材関連英文)	題材関連英文の長文問題	
		⑤評価問題A1 (英語指示文)	上記①～④の問題を英語指示文にしたもの	
		⑥評価問題A2 (英語指示文)		
		⑦評価問題A3 (英語指示文)		
		⑧評価問題A4 (英語指示文)		
		⑨Check Test	各セクションの確認問題	
		⑩Challenge問題	Challengeの確認問題	
		⑪単語・熟語小テスト	新出語・熟語の確認問題	
3	教科書本文	①教科書データ	教科書テキストのすべてを収録	
		②本文データ	レッスン本文のみのデータ	
		③通し読みシート	レッスンの通し読みができるシート (内容確認問題付き)	
4	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文A	標準的な長さに区切ったもの	p.22
		②スラッシュ入り本文B (訳付き)	和訳をつけたもの (Excel)	
5	穴あき本文	①穴あき本文A (新出語)	新出語部分が穴あき	
		②穴あき本文B (新出語の頭文字入り)	( ) 内に最初の1文字入り	
		③穴あき本文C (内容語)	内容語部分が穴あき	
6	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの	p.23
7	訳文	①訳文A	教科書本文の和訳	
		②訳文B (新出語部分が穴あき)	①の新出語部分が穴あき	
		③訳文C (内容語部分が穴あき)	①の内容語部分が穴あき	
8	本文理解・サマリー	①TF	各セクションのTFと補充問題	p.23
		②Q&A	各セクションのQ&Aと補充問題	
		③サマリーA (英語)	各セクションのサマリー (英語)	
		④サマリーB (日本語)	各セクションのサマリー (日本語)	
		⑤情報の整理A (日本語)	各レッスンの内容を表で整理 (日本語)	p.21
		⑥情報の整理B (英語)	各レッスンの内容を表で整理 (英語)	
		⑦課末解答	Review&RetellとPracticeの解答	
9	その他	①Listen Up	Listen Upのスク립トと和訳	
		②Oral Introduction	各レッスン、各セクションのOral Introductionのスク립ト	
		③Grammar補充例文・補充問題	各セクションで学習した文法の補充例文と補充問題	
		④Activity Cornerスク립ト	Listenのスク립トと和訳	
		⑤Activity Cornerワークシート	Activity Cornerで使用できるワークシート	p.24
		⑥Activity Cornerルーブリック案	Activity Cornerで使用できるルーブリック	

9	その他	⑦授業用ワークシート	授業で使用できるセクションごとのワークシート	
		⑧セクション和訳・解答 授業用ワークシート解答	各セクションの和訳と解答	
		⑨題材関連英文	評価問題④の英文	
10	図版	①リテリング活動用図版	各セクションのリテリング用の素材シートと図版データ	
		②教科書掲載以外の図版	追加の写真・図版などのデータ (掲載のないレッスンもあります)	
11	ワークブック	①ワークブックスタンダード版	ワークブックスタンダード版の文字と解答データ	
		②ワークブックアドバンス版	ワークブックアドバンス版の文字と解答データ	
		③ワークブック音声	ワークブック新出語、リスニングの音声	
12	投影用データ	①導入	扉ページの導入・スライド動画	
		②本文	パラグラフごとの本文と和訳	p.24
		③本文 (1文ごと)	1文ごとの本文と和訳	
		④本文 (スラッシュ)	スラッシュ入りの本文と和訳	
		⑤TF、Comprehension	各セクションのTF、Comprehensionの文字と解答	p.24
		⑥単語フラッシュカード	新出語・熟語	p.24
		⑦Review&Retell	Review&Retellの授業スライド	
		⑧Activity Corner	Activity Cornerの授業用スライド	
		⑨Challenge	Challengeの授業用スライド	

## ■ 各レッスン外のデータ

13	その他教科書テキスト	各レッスン以外のテキストデータ	Starterや課間のコーナー、付録など	
14	単語リスト他	①単語リスト	全ての新出語のリスト (アルファベット順)	
		②熟語リスト	全ての熟語のリスト (アルファベット順)	
		③新出語の英英語義	新出語リスト・和訳・発音記号・例文・英英語義・CEFR-Jレベル付き	
15	その他テスト	①パフォーマンステスト	Speaking、Writingのテスト3回分	
		②リスニングテスト	Listeningのテスト3回分 (音声データ)	
		③大学入学共通テスト型問題	3回分	
		④定期テスト案	「知技」「思判表」を明記した定期テスト案	
16	授業案	英語での授業案	レッスン1の授業案、各課の入れ替え素材、パフォーマンステスト案、授業展開アイデアなど	p.20
17	その他の読みもの	追加の読みもの	追加の読みもの英文、和訳、スラッシュ入り本文、評価問題	
18	教科書紙面PDF			
19	教師用指導書『解説と指導』紙面PDF			p.16
20	『マイウェイ総合英語第2版』紙面PDF			

## ■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書 (教師用) 『ウィズダム英和辞典第4版』『ウィズダム和英辞典第3版』『エースクラウン英和辞典第3版』	
2	評価支援ツール (観点別評価～評定換算表)	p.36
3	指導者用デジタル教科書 (教材)	p.25
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」	p.38
5	Googleフォーム解答用フォーム (評価問題/ワークブックに対応)	

▶ Teacher's Manual の冊子『解説と指導』の紙面PDFが付属しています。本文検索が可能で、学習事項のインデックスとしてもお使いいただけます。

▶ 各レッスンに題材資料をご用意しています。題材に関連する情報や、参考文献・ウェブサイトのURLなども掲載しています。

Lesson 4

Lesson 4

教科書 pp.56 ~ 67

Messages from Winnie-the-Pooh

1. 課のねらい

題材

概要	総語数	新出語数
イギリスの物語『クマのプーさん』シリーズのエピソードの紹介を通して作者が伝えようとしたメッセージを理解し、物語からメッセージを読み取ることの大切さを考える。	全体 328語	25語
	S1 108語	9語
	S2 116語	9語
	S3 104語	7語

言語活動

留学生に紹介する日本の物語をグループで1つ決めるために、自分が選んだ物語の内容と特徴を書いたうえで発表し、グループ内でやり取り（討論）ができるようにする。

言語材料

セクション	言語材料	ターゲット文
1	現在完了形	I <b>have read</b> this book many times since I was a child. The book <b>has been</b> popular for about 100 years.
2	現在完了進行形	They <b>have been walking</b> around the tree.
3	過去完了形	I <b>had not noticed</b> these messages until I read the books again.

2. 題材の背景

『クマのプーさん』は1926年に発表されたイギリスの児童文学である。クマのぬいぐるみのプーと森の仲間たち、それに少年のクリストファー・ロビンが10編で描かれている。1928年に続編である『プー横丁にたった家』が出版された。著者はイギリスの作家A. A. ミルン、絵は同じくイギリスの挿絵画家E. H. シェパードが描いた。作品は発売当初から人気を集め、多数の言語に翻訳されるとともに、1960年代からディズニーによってアニメーション化された。

3. 題材資料データに掲載の項目

1. A. A. ミルンについて
2. E. H. シェパードについて
3. 『クマのプーさん』の作品について
4. キャラクター
5. プーのモデルについて
6. 内容について
7. クリストファー・ロビンの成長と別れ

Lesson 4

Messages from Winnie-the-Pooh



A.A.ミルン(左)と、息子のクリストファー・ロビン(右)

1. A.A.ミルンについて

A.A.ミルン(アラン・アレクサンダー・ミルン)はイギリスの作家で、1882年1月18日にロンドンで生まれた。1888年に父が経営するヘンリー・ハウス・スクールに入学。その後ウェストミンスター大学に入学し、ケンブリッジ大学トリニティー・カレッジで数学を学んだ。大学に入学後、学生雑誌『グラント』の編集長となり、作品の執筆などに携わる。また、学生時代から風刺雑誌『パンチ』にも作品が掲載された。大学卒業後はさまざまな雑誌に作品を寄稿する一方、『パンチ』で編集アシスタントとしても働く。

1913年にダフネと結婚した後、ミルンは『パンチ』からの脱出を考え、劇を書くようになる。第一次世界大戦中は兵隊の娯楽用に昔話風の劇を書くが、戦後は探偵小説の執筆や劇評なども行っていた。1920年、息子クリストファー・ロビンが誕生。同年、『ピム氏が通る』Mr. Pim Passes Byという劇で成功を収める。ミルンが子ども向けの本を書くようになったきっかけは、1922年に妻ダフネへ贈った『夕べの祈り』Vespersという詩である。これを書いた数か月後、子ども向け雑誌に『やまねとお医者』The Dormouse and the Doctorという詩を書く。この詩の読者から子どもの詩の単行本を出すことを勧められ、出版した作品が『ぼくたちがとても小さいころ』When We Were Very Young(1924年)であった。E.H.シェパードが挿絵をつけたこの童話集(詩集)は、間もなくベストセラーとなり、その後同様にシェパードが挿絵を担当した『クマのプーさん』Winnie-the-Pooh(1926年)、『ぼくたちは六歳』Now We Are Six(1927年)、『プー横丁にたった家』The House at Pooh Corner(1928年)を出版。ミルンの作家としての地位は確固たるものとなった。

これら一連の作品でミルンは大成功を収めたが、彼にとって子どもの本は偶然の産物であり、自分の本領であるとは考えていなかった。以後ミルンは1つの例外を除き、子ども向けの作品を執筆することはなかったが、その後の作品で大きな評判を得ることはできなかった。

晩年は心臓発作や、脳の手術による辛い生活などを強いられる。1956年1月、74歳で生涯を終えた。

『ぼくたちがとても小さいころ』When We Were Very Young(1924年)であった。E.H.シェパードが挿絵をつけたこの童話集(詩集)は、間もなくベストセラーとなり、その後同様にシェパードが挿絵を担当した『クマのプーさん』Winnie-the-Pooh(1926年)、『ぼくたちは六歳』Now We Are Six(1927年)、『プー横丁にたった家』The House at Pooh Corner(1928年)を出版。ミルンの作家としての地位は確固たるものとなった。

これら一連の作品でミルンは大成功を収めたが、彼にとって子どもの本は偶然の産物であり、自分の本領であるとは考えていなかった。以後ミルンは1つの例外を除き、子ども向けの作品を執筆することはなかったが、その後の作品で大きな評判を得ることはできなかった。

晩年は心臓発作や、脳の手術による辛い生活などを強いられる。1956年1月、74歳で生涯を終えた。

2. E.H.シェパードについて

E.H.シェパード(アーネスト・ハーワード・シェパード)は、1879年にロンドンで生まれた。建築家の父を持ち、幼いころから画才を見せた彼は、王立美術院学校で学ぶ。その後、1904年に『パンチ』の創始者を祖父に持つフローレンスと結婚。

婚。一男一女をもうけた。フローレンスとはその後1927年に死別し、1943年に二番目の妻ノラと再婚している。



E.H.シェパード

在学中からミルン同様『パンチ』への掲載を目指して活動し、1907年に初めて風刺漫画が掲載されると、1914年までには定期寄稿者となる。さらに1921年からは編集にも携わるまでになり、シェパードにとっての『パンチ』との関係は1953年まで続く長いものとなった。挿絵画家としてミルンの作品を担当する頃からシェパードは既にその地位を確立していたが、『ぼくたちがとても小さいころ』の挿絵が好評を博したことから、以後、他の作家の作品の挿絵にも多く携わる。

代表的な仕事として、ケニス・グレアム『風のたしい川』The Wind in the Willowsの1931年に出版された新版や、リチャード・ジェフリーズ『ビーヴィズ』Bevisの新版(1932年)があげられる。1976年に96歳で死去。亡くなる直前までプーの絵を描き続けた。

3. 『クマのプーさん』の作品について

『クマのプーさん』は1926年に発表

された児童物語である。ハチミツが好きなクマのぬいぐるみのプーと森の仲間たち、そしてクリストファー・ロビンとの日常が10編のエピソードに描かれている。発表時から広く人気を集め、多数の言語に翻訳されている。また、1960年代からはディズニーによってアニメーション化された(ただし、一部キャラクターの設定などが、原作とは異なっている)。前書きでは、前著である『ぼくたちがとても小さいころ』に触れるとともに、クマに『Winnie-the-Pooh』と名付けたときや、キャラクターのビグレットについて書かれている。童話集『ぼくたちがとても小さいころ』は、3歳の息子クリストファー・ロビンのために作られた童話など44編を集めたものである。本作にもクマのぬいぐるみは登場するが、プーは白鳥の名として付けられている。その後、6歳に成長したクリストファー・ロビンのために作られた童話35編を集め、『ぼくたちは六歳』も作られた。プーの登場するミルンの作品のうち、この2作は童話集で、児童物語集としては、『クマのプーさん』の後に『プー横丁にたった家』が1928年に出版されている。

4. キャラクター

『クマのプーさん』には、さまざまなキャラクターが登場する。どれもユニークで、魅力にあふれている。

プー(Winnie-the-Pooh) ハチミツが大好きなクマ。礼儀正しく、仲間思いでやさしい。ご馳走に目がなく、何處もピンチにおちいる。よく即興で詩

を作った歌っている。「いやんなっちゃう!」が口癖。

クリストファー・ロビン(Christopher Robin) 森(100 AKER WOOD)で一番小さい少年。みんなに公平で、いつもやるべきことがわかっているため仲間たちに頼りにされている。好きなことは「なにもしていないこと」。プーを敬愛している。

ビグレット(Piglet) 控えめで気は小さいが、仲間思いのこぶた。時々勇気を出して仲間を助ける。プーの親友で一番の理解者。どんぐりが好物。

イーヨー(Eeyore) 心配性でとても悲観的な性格のロバ。じめじめした「しめっ地」で暮らしている。振夜回りになってしまいうことが多く、仲間たちと過ごすようになり少し前向きになった。

トラー(Tigger) 元気なねっかえりのトラの子。強気な言動で森に騒動を起こす。『プー横丁にたった家』で、一番最後に仲間に加わる。絶対に道に迷わない。

ウサギ(Rabbit) いつも予定があってせわしないうさぎ。みんなをまとめるのが大好きな仕切り屋だが、実はそっかしい。たくさんの「観せき友人」がいる。

カンガ&ルー(Kanga & Roo) カンガルーの親子。母親のカンガは愛

情深く面倒見がいい。トラーの面倒も見ている。子どものルーは好奇心旺盛。ルー坊と呼ばれている。

フクロ(Owl) 森で一番物知りなフクロウ。読み書きもでき、仲間にも頼りにされている。難しい言葉を好んで使い、いつも話が長い。「いげん」を大切にしている。

5. プーのモデルについて

クマのプーは、クリストファー・ロビンが持っていたクマのぬいぐるみがモデルになっている。このぬいぐるみは、クリストファー・ロビンが1歳のときに誕生日プレゼントとして購入されたものである。

クマのぬいぐるみを購入した。それに対し、ウサギとフクロは特定のモデルが存在せず、ミルンが創り出したものである。

クマのぬいぐるみを購入した。それに対し、ウサギとフクロは特定のモデルが存在せず、ミルンが創り出したものである。



ディエアを持ったクリストファー・ロビン

キャラクターのもとになったぬいぐるみは他にもあり、イーヨーはクリストファー・ロビンが1歳のときのクリスマスプレゼント、ビグレットは隣人からプレゼントされたものである。また、執筆が進むとミルンは新たにカンガとルー、トラーのぬいぐるみを購入した。それに対し、ウサギとフクロは特定のモデルが存在せず、ミルンが創り出したものである。

作中で、人間であるクリストファー・ロビン、そしてウサギ、フクロ以外のキャラクターがぬいぐるみという設定になっているのは、以上のような経緯がある。

「Winnie-the-Pooh (ウィニー・ザ・プー)」という名前は2種類の動物の名前に由来する。

まず「ウィニー」は、当時ロンドン動物園で人気だったメスの黒いクマの名前であった。このクマはもともと、カナダの砲兵第2旅団に獣医師として所属していたハリ・コルバーン中尉が飼っていたクマである。

先述の通り、プーの物語はクリストファー・ロビンが持っていたぬいぐるみがモデルである。一方、挿絵として描かれたプーは、シェパードの息子が持っていたクマのぬいぐるみがモデルとなっている。クリストファー・ロビンのクマはほっそりしているのに対し、シェパードの息子のクマはふっくらとしており、後者の方が物語の主役に通じていたためモデルとして選ばれたのだ。

6. 内容について

『クマのプーさん』は、作者のA.A.ミルンが、息子のクリストファー・ロビンとぬいぐるみのクマのプーに、プーが出てくる話を語って聞かせるという形で始まっている。プーの暮らしを舞台に、森の仲間たちとの間で起きたことなどが綴られている。以下、一部の章について、あらすじを紹介しよう。



コルバーン中尉とクマのウィニー

前書きに登場したプーとビグレットのやりとりは、『クマのプーさん』の第5章で語られている。この章で、プーとビグ

# ■ 評価問題 (思判表シートを含む)

▶ 本文を使った総合問題、初見の関連英文を用いた問題、パフォーマンステスト、定期テストにも使える全3回のスピーキング・ライティングテストをご用意しています。

マイウェイ英語コミュニケーション

マイウェイ英語コミュニケーション

**Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh 評価問題 A-1**

**〔音声・語彙〕**

[1] 下線部の発音が左の語と同じ語を1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。(各2点)

(1) heartwarming a. bear b. year c. start d. world  
 (2) author a. also b. around c. notice d. animal  
 (3) character a. each b. singe c. especially d. grate  
 (4) stuffed a. student b. probably c. sign d. unique  
 (5) moving a. bigh b. foolish c. footstep d. forest

[2] 最も強く発音する箇所を1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。(各2点)

(1) ac-cept (2) re-spond (3) char-acter (4) prob-a-bly  
 アイ アイ アイウ アイウ  
 (5) dis-ap-point-ed  
 アイ ウ エ

[3] 次の日本語を英語に直しなさい。ただし、( ) があるものは、その中の文字で始まる語を答えなさい。(各2点)

(1) 脳, 知能 \_\_\_\_\_  
 (2) エピソード, 挿話 \_\_\_\_\_  
 (3) やりとり, 相互作用 \_\_\_\_\_  
 (4) ～を約束する \_\_\_\_\_  
 (5) 意味のある \_\_\_\_\_  
 (6) ～に気づく (r) \_\_\_\_\_  
 (7) 愚かな (f) \_\_\_\_\_

**〔文型・文法・作文〕**

[4] 次の日本語の意味を表すように、[ ] 内の語句を並べかえて英文を完成しなさい。(各4点)

(1) 彼女は、疲れているときでも笑顔を保ちません。  
 She keeps smiling [ tired / when / is / she / even ].  
 She keeps smiling \_\_\_\_\_.

(2) 事故後、私はしばらく入院していました。  
 After the accident, I [ hospital / had / for / in / been / a while ].  
 After the accident, I \_\_\_\_\_.

(3) ルーシーは2時間ずつピアノの練習をしています。  
 Lucy [ practicing / for / has / the piano / two hours / been ].  
 Lucy \_\_\_\_\_.

[5] 下線部と同じ用法の現在完了を含む文を下のア～ウから選び、記号で答えなさい。(各3点)

(1) I have been to Okinawa twice. ( )  
 (2) The train has not arrived at the station yet. ( )  
 (3) They have stayed in Japan for a week. ( )

ア I've just finished reading the book.  
 イ He has never traveled abroad.  
 ウ Ms. Yoshida has been a teacher since last year.

[6] 次の英文の意味を( ) 内に書いて完成しなさい。(各3点)

(1) He won't tell the secret to others, ever.  
 彼は( ), その秘密を他人に( ) でしょう。

(2) Nancy has already had breakfast today.  
 ナンシーは今日、( ) 。

(3) Stay true to yourself and live as you are.  
 自分を偽らずにいて、( ) ごらん。

[7] 次の英文を( ) 内の指示に従って書きかえなさい。(各4点)

(1) She has lived in this town since she was five. (下線部をたずねる疑問文に)  
 \_\_\_\_\_

(2) I've never read his book. (文末に until I met him を加えて過去完了を使った文に)  
 \_\_\_\_\_

(3) I started to study math an hour ago. I'm still studying it.  
 (ほぼ同じ意味の、現在完了進行形を使った文に)  
 \_\_\_\_\_

[8] 次の日本語の意味を表すように、\_\_\_\_に適切な語を書きなさい。(各4点)

(1) 私は長い間ここに滞在するつもりはありません。  
 I won't stay here \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_ time.

(2) 私たちは楽しく時間を忘れていました。  
 We enjoyed ourselves and \_\_\_\_\_ time.

(3) しばらくして、突然彼が話し始めました。  
 After \_\_\_\_\_, he suddenly began to talk.

(4) 彼らはその試合結果がっかりしました。  
 They got \_\_\_\_\_ the result of the game.

(5) 私は、たいてい近くの公園で日々を過ごします。  
 I usually \_\_\_\_\_ my days in the park \_\_\_\_\_.

(6) 彼女はたくさん(動物の)ぬいぐるみをもっています。  
 She has many \_\_\_\_\_.

**Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh 評価問題 A-3**

[1] 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号 [1] ~ [4] にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

Today, I'd like to introduce one of my favorite books, *Winnie-the-Pooh*. I have read this book many times [1] I was a child.

The book was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days in a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is unique.

How did the author create these characters? Milne had a son, Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. He and the stuffed animals became models for the characters in the book. The book has been popular around the world [2] about 100 years.

問1 Choose the best for each of [1] and [2] in the passage. (各6点)

① when ② for ③ since ④ until

問2 Christopher Robin [3] (10点)

① likes *Winnie-the-Pooh* and has read it many times  
 ② wrote a book about his stuffed animals  
 ③ became one of the models for the characters in the book  
 ④ loved many stuffed animals his father made

問3 According to the passage, which of the following is true? [4] (10点)

① The student has many books written by Milne.  
 ② Each of the characters in *Winnie-the-Pooh* is unique.  
 ③ Milne got an idea for his book from his own childhood.  
 ④ The book written by Milne is not read so much today.

[2] 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号 [5] ~ [8] にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

Recently I read *Winnie-the-Pooh* again. Then I found some new messages in the book.

Here is one example. Pooh and Piglet find footprints in the snow and follow them around a tree. They wonder, "Whose footprints are these?" They have been walking around the tree. After a while, they realize that the footprints are their own. Pooh gets [5] with himself and says to Christopher nearby, "I have been foolish, and I am a bear of no brain at all." Christopher responds, "You're the best bear in all the world."

Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as [6].

問1 Choose the best for [5] in the passage. (6点)

① satisfied ② happy ③ excited ④ disappointed

問2 Choose the best for [6] in the passage. (6点)

① they are ② their models  
 ③ itself ④ well as them

問3 Why does Pooh say, "I have been foolish?" [7] (10点)

① Because he couldn't find any footprints in the snow.  
 ② Because he thought his own footprints were someone else's.  
 ③ Because he didn't realize that Christopher was nearby.  
 ④ Because he didn't know what to say to Christopher.

問4 According to the passage, which of the following is true? [8] (10点)

① The student read the book for the first time recently.  
 ② In the story, Pooh and Piglet follow each other around a tree.  
 ③ In the story, Christopher respects Pooh and encourages him.  
 ④ The student cannot understand any messages in the book.

[3] 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号 [9] ~ [11] にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

I also read *The House at Pooh Corner*. The book has heartwarming messages, too. The last episode is especially moving. Christopher tells Pooh that he cannot see Pooh for a while because he has to start school. Christopher says, "Pooh, promise you won't forget about me, ever. [9] when I'm a hundred." Pooh asks, "How old will I be then?" Christopher answers, "Ninety-nine." Then Pooh says, "I promise." This interaction shows that real friendships last for a long time.

I had not noticed these messages until I read the books again. Both of the books have meaningful messages for us, high school students.

問1 Choose the best for [9] in the passage. (6点)

① Especially ② Only ③ Not even ④ Not only

問2 The student noticed messages in the books [10]. (10点)

① when he/she read them again  
 ② before he/she became a high school student  
 ③ only after he/she read the last episode  
 ④ because he/she read them with friends

問3 What message did the student learn from *The House at Pooh Corner*? [11] (10点)

① We can start learning at any age.  
 ② Everyone gets older.  
 ③ Saying good-bye is part of life.  
 ④ Real friendships never end easily.

**Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh 評価問題 A-2**

[1] 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Today, I'd like to introduce one (ア) my favorite books, *Winnie-the-Pooh*. [ many / have / book / times / I / this / read / since ] I was a child.

The book was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days (イ) a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is unique.

② How did the author create these characters? Milne had a son, Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. He and the stuffed animals became models for the characters in the book. The book [has been] popular around the world for about 100 years.

(1) 空所(ア)、(イ)に入る最も適切な前置詞を、それぞれ下から選んで書きなさい。(各4点)

(ア) \_\_\_\_\_ (イ) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ in \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ of \_\_\_\_\_ for \_\_\_\_\_

(2) ①の[ ]内の語句を、意味がとおるように並べかえなさい。(4点)

\_\_\_\_\_

(3) 下線部②の問いかけに対する答えを日本語で表す場合に、下の( ) 内に入ることを書きなさい。(各3点)

自分の( )とその遊び相手である( )を本の登場人物の( )にした。

(4) 下線部③と同じ用法の現在完了が使われている文を下のア～ウから選び、記号で答えなさい。(4点)

ア He has been in London since last year.  
 イ My father has been to India before.  
 ウ Tom has just been to the station. ( )

(5) 次の問いに英語で答えるとき、\_\_\_\_に適切な語を書きなさい。(6点)

When did Milne write the book, *Winnie-the-Pooh*?  
 一 He \_\_\_\_\_.

[2] 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Recently I read *Winnie-the-Pooh* again. Then I found [some new messages] in the book.

Here is one example. Pooh and Piglet find footprints in the snow and follow them around a tree. They wonder, "Whose footprints are these?" They [around / been / the tree / walking / have]. After a while, they realize that the footprints are their own. Pooh gets disappointed with himself and says to Christopher nearby, "I have

been foolish, and I am a bear [of no brain] at all." Christopher responds, "You're the best bear in all the world."

Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as they are.

(1) 下線部①について、その例として挙げられているものを日本語で表す場合に、下の( ) 内に入ることを書きなさい。(各3点)

互いを( )し、( )を( )に受け入れることの大切さ。

(2) ②の[ ] 内の語句を、意味がとおるように並べかえなさい。(4点)

\_\_\_\_\_

(3) 下線部③とほぼ同じ内容を表す1語を文中から探して書きなさい。(4点)

\_\_\_\_\_

(4) 次の各文が本文の内容に合っていればTを、違っていればFを書きなさい。(各4点)

[1] Some messages can be found in *Winnie-the-Pooh*. ( )  
 [2] Pooh and Piglet want to know who made footprints in the snow. ( )  
 [3] Christopher tells Pooh and Piglet that the footprints are their own. ( )  
 [4] Christopher actually says to Pooh, "I like you as you are." ( )

[3] 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

I also read *The House at Pooh Corner*. The book has heartwarming messages, too. The last episode is especially moving. Christopher tells Pooh that he cannot see Pooh (ア) because he has to start school. Christopher says, "Pooh, promise you won't forget about me, ever. Not even when I'm a hundred." Pooh asks, "(イ) will I be [then]?" Christopher answers, "Ninety-nine." Then Pooh says, "I promise."

② This interaction shows that real friendships last (イ).

③ I had not noticed these messages until I read the books again. Both of the books have meaningful messages for us, high school students.

(1) それぞれ次の意味になるように、空所(ア)、(イ)にあてはまる語句を書きなさい。(各4点)

(ア) しばらくの間 (3語) \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_  
 (イ) 長い間 (4語) \_\_\_\_\_ a \_\_\_\_\_

(2) 空所(イ)に適切な語句を2語で書きなさい。(4点)

\_\_\_\_\_

(3) 下線部①を次のように言いかえる場合に、空所に適切な語を書きなさい。(5点)

when you \_\_\_\_\_ (各4点)

(4) 下線部②について具体的に日本語で表す場合に、下の( ) 内に入ることを書きなさい。(各3点)

**Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh 評価問題 A-4 (題材関連英文)**

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Another Message from *Winnie-the-Pooh*

Here, I'd like to introduce another good message from *Winnie-the-Pooh*. It's about (ア).

In one episode, two kangaroos suddenly appear in the forest: Kanga is a calm and kind mother, and Roo is a nice and cheerful boy. However, the animals in the forest are surprised because Kanga puts Roo in her "pouch!" [They find this very strange]. The kangaroos are very (ア) from the animals in the forest. They think that the kangaroos should leave.

One day, the animals \*take Roo away from Kanga's pouch. Then, they hide Roo in Rabbit's house. Surprisingly, Roo has a good time with Rabbit. [Roo even teaches Pooh to jump!]

Finally, all the animals in the forest become (イ) with the kangaroos. This episode tells us that we should all accept each other and make friends with people who are new or different. We may learn something from [them], and we can be good friends.

\*pouch 袋 \*take ~ away from... ~を...から連れ去る

(1) 空所(ア)に入る最も適切なものをア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。(4点)

ア the power of mothers' love  
 イ the rules of living in the forest  
 ウ the importance of accepting others ( )

(2) 下線部①の内容を日本語で表すとき、下の( ) 内に入ることを書きなさい。(各4点)

( ) たちは、カンガルーの母親が子どもを( ) のを見て( ) だと思う。( )

(3) 空所(ア)、(イ)に入る最も適切な語を、それぞれ文中から探して書きなさい。(各4点)

(ア) \_\_\_\_\_ (イ) \_\_\_\_\_

(4) 下線部②を Pooh を主語にしてほぼ同じ意味の文に書きかえるとき、下の\_\_\_\_に適切な語を書きなさい。(各4点)

Pooh \_\_\_\_\_ even \_\_\_\_\_ to jump \_\_\_\_\_ Roo!

(5) 下線部③の them が指すものを文中から6語で探して書きなさい。(6点)

\_\_\_\_\_

(6) 次の各文が本文の内容に合っていればTを、違っていればFを書きなさい。(各4点)

[1] The two kangaroos have lived in the forest for a long time. ( )  
 [2] It is surprising that Roo and Rabbit enjoy staying together. ( )

※以下の評価問題をご用意しています。

① 評価問題A1 文法・語彙・表現確認問題  
 ② 評価問題A2 本文を使った問題  
 ③ 評価問題A3 本文を使った4択問題  
 ④ 評価問題A4 題材関連英文の長文問題  
 ⑤ 評価問題A1 (英語指示文)  
 ⑥ 評価問題A2 (英語指示文)  
 ⑦ 評価問題A3 (英語指示文)  
 ⑧ 評価問題A4 (英語指示文)

※⑤～⑥は上記①～④の問題を英語指示文にしたもの

⑨ Check Test 各セクションの確認問題  
 ⑩ Challenge問題 Challengeの確認問題  
 ⑪ 単語・熟語小テスト 新出語・熟語の確認問題

# ■ 授業案

▶ レッスン1の授業案、授業展開アイデア、各課の入れ替え素材、パフォーマンステスト案などをご用意しており、授業準備にお役立ていただけます。

MY WAY English Communication I New Edition  
Lesson 1 Introduction & Section 1 Teaching Plan 教科書 pp.14-17

1時間目 (50分)

SCENE	教師の指示・生徒の活動	指導上の留意点
Greeting	Hello, everyone. Let's begin today's lesson.	
Ice-breaking 「看板」 についての導入 (8分)	Do you enjoy shopping or eating at restaurants or cafes? When you choose shops or restaurants, what do you check? Talk with your friends and share your ideas.  Student A, could you tell us what do you check when you choose shops or restaurants? (ペアで話し合ったものをいくつか全体でシェア。)  When choosing restaurants or cafes, you may check the location and the menu. Do you also check the signboard?	・英語で授業を進めながら、生徒の理解の状況を見ながら、必要に応じてヒントを出したり、日本語で説明を加えたりする。 ・日ごろ入るお店を選ぶとき、どんなところに注目しているかを生徒に考えさせる。 ・生徒同士ペアで話し合い、全体でシェアし、レッスンの導入につなげる。
Pre-Reading レッスンへの導入 (10分)	Now, please open your textbooks to page 14. We can see various signboards on the streets. Some look cute with decorations. The letters on each sign are different.  Listen up Now, listen to the dialog between Bob and Aki. They are talking about the signs. Choose the correct answer in each box. OK, now let's check the answers in pairs in Japanese and in English.	★教科書: Listen up ・聞く前に絵を見て情報交換、内容に興味を引きつける。 ・ペアで答えをシェアした後、全体で確認。
Talk together	Now, which font on the left page do you like? Talk with your friends and share your ideas.  Each sign has a different font. Some fonts are	★教科書: Talk Together ・ペアで答えをシェアした後、数名の生徒に

cute, and some are easy to read.  
I like the font the photo number 2 because it looks elegant, and I feel like I can enjoy good food in an elegant tearoom.

Well, look at the photo number 4. Do you know the meaning of "Halal"?  
Halal is an Arabic word. It means "allowed" or "permitted" in Islam. Muslim people follow rules in the Quran (the holy book of Islam).  
This shop sells Halal Food: Halal food is food that Muslims can eat. For example:  
• Meat from animals that are killed in a special way  
• Chicken, beef, or lamb that is prepared the halal way  
Muslims cannot eat food that is not halal. This shop is important for Muslims because it sells halal food. The font on the sign is big, clear, and easy to read, so very helpful to find out.

The topic of this lesson is "Fonts and Communication." Fonts are important for making writing easier to understand. Let's learn more about them.

Now, we will start Section 1. First, check the new words.  
・新出単語、重要語句ワークシートを配布する。  
・発音は発音記号を見てペアで推測してから全体で確認。  
・始めは日本語で意味の確認、簡単な英語の言い換えで説明なども可。  
・意味確認後、全員で発音練習→ペアで発音。

聞いて、全体シェア。  
・写真4の"HALAL"の意味を確認しながら、「フォント」の大切さについて確認する。  
・必要に応じて For Your Information に触れる。

単語チェック  
Vocabulary Check  
(10分)

・授業内で必要に応じて、辞書を全員で引く機会を作り、辞書の使い方も指導。  
・新出単語は生徒自身が発音を確認させてから正しい発音を確認させると、発音記号を意識するようになる。

内容理解  
①1st Reading (8分)

内容理解 Version 1 読解でTF問題に取り組み

Next, we will read Section 1 on page 16. In Section 1, an ALT is talking about fonts in the classroom.  
The first reading task is a "True or False" activity. After you read the passage, you will do a listening version. Now, please read the passage. You have one and a half minutes. Ready? Go!  
Now, listen to 3 sentences and check whether these sentences are true or false.

TF問題

1. The teacher is interested in pancakes. (F)(0L1-3)  
2. Shop A may sell expensive pancakes. (F)(0L5-7)  
3. Some people may go to Shop B for a special event. (T)(0L8-9)

Share your answers with the students around you. If your answers are different, discuss the details and think about which is correct.  
(スクリーンなどでTF問題を示すとよい)

OK. Now, check your answers together in class. If you think the answer is true, show me "パー", if you think the answer is false, show me "グー".

②2nd Reading (10分)

内容理解 Version 2 読解前にリスニングでTF問題に取り組み、内容を把握

Next, we will read Section 1 on page 16. In Section 1, an ALT is talking about fonts in the classroom.  
Before reading the passage, we will listen to it. Listen for the main idea. Please close your textbooks.  
The ALT will tell you what a font is.  
Now, listen to the story and catch the information.  
When you are listening, write down the words and phrases you hear. Later, you will share the information with your friends. So, listen very carefully.  
(Shop AとShop Bのメニューの写真を提示)  
・リスニング→ペアでシェア→全体でシェア  
・数組のペアに聞き、(できれば英語で)キャッチできた情報を全体でシェア。

Now, listen again and get more information. After listening, you will try a "True or False" activity. So, listen very carefully.  
Now, listen to 3 sentences and check whether these sentences are true or false.

TF問題

1. The teacher is interested in pancakes. (F)(0L1-3)  
2. Shop A may sell expensive pancakes. (F)(0L5-7)  
3. Some people may go to Shop B for a special event. (T)(0L8-9)

Share your answers with the students around you. If your answers are different, discuss the details and think about which is correct.

OK. Now, check your answers together in class. If you think the answer is true, show me "パー", if you think the answer is false, show me "グー".

内容理解  
①1st Listening (5分)

内容理解 Version 2 読解前にリスニングでTF問題に取り組み、内容を把握

Next, we will read Section 1 on page 16. In Section 1, an ALT is talking about fonts in the classroom.  
Before reading the passage, we will listen to it. Listen for the main idea. Please close your textbooks.  
The ALT will tell you what a font is.  
Now, listen to the story and catch the information.  
When you are listening, write down the words and phrases you hear. Later, you will share the information with your friends. So, listen very carefully.  
(Shop AとShop Bのメニューの写真を提示)  
・リスニング→ペアでシェア→全体でシェア  
・数組のペアに聞き、(できれば英語で)キャッチできた情報を全体でシェア。

Now, listen again and get more information. After listening, you will try a "True or False" activity. So, listen very carefully.  
Now, listen to 3 sentences and check whether these sentences are true or false.

TF問題

1. The teacher is interested in pancakes. (F)(0L1-3)  
2. Shop A may sell expensive pancakes. (F)(0L5-7)  
3. Some people may go to Shop B for a special event. (T)(0L8-9)

Share your answers with the students around you. If your answers are different, discuss the details and think about which is correct.

OK. Now, check your answers together in class. If you think the answer is true, show me "パー", if you think the answer is false, show me "グー".

# ■ 情報の整理 (日本語/英語)

▶ 書き込んでいながら本文内容を整理できるワークシートを、日本語・英語両方でご用意しています。

情報の整理A (日本語) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

セクション	内容
1	・『クマのプーさん』 作者: ① ( ) 書かれた年: ② ( )年 登場するキャラクター: ③ ( ) (=主人公)、クリストファー・ロビン、ピグレット、イーヨーなど→(モデル) 作者の息子とその④ ( ) 物語: プーが仲間たちと⑤ ( )の中で過ごす
2	・『クマのプーさん』の中のエピソード プーとピグレットは雪の中で⑥ ( )を見つける→それが誰のものか見つけようとする ↓ ⑥ ( ) ↓ ⑦ ( ) ↓ ⑧ ( ) ↓ ⑨ ( ) ↓ ⑩ ( )
3	・『プー横町』にクリストファーといと伝える ↓ プーは、自分がと約束する ・エピソードが伝真の⑪ ( )

【解答】  
①A. A. ミルン ②1926 ③  
④足跡 ⑤がっかり ⑥クリ  
⑦最後 ⑧会え ⑨忘れ

情報の整理B (英語) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

セクション	内容
1	・Winnie-the-Pooh Who wrote it?: ① ( ) When was it written?: in ② ( ) Characters: ③ ( ) (= lead character), Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and others. → models: The author's son and his ④ ( ) Story: Pooh spends in a ⑤ ( ) with his friends.
2	・An episode of Winnie-the-Pooh Pooh and Piglet find ⑥ ( ) in the snow. → try to find whose they are ↓ realize that the ⑥ ( ) are their own → get ⑦ ( ) ↓ ⑧ ( ) cheered Pooh up. ・A message from the episode We should ⑨ ( ) each other, and accept others ⑩ ( ) .
3	・The ⑪ ( ) episode of The House at Pooh Corner Christopher tells Pooh that he cannot ⑫ ( ) Pooh for a while because school will start. ↓ Pooh promises not to ⑬ ( ) about Christopher even when he is ninety-nine. ・A message from the episode Real ⑭ ( ) ⑮ ( ) for a long time.

【解答】  
①A. A. Milne ②1926 ③Winnie-the-Pooh ④stuffed animals ⑤ forest  
⑥footsteps ⑦disappointed ⑧Christopher (Robin) ⑨respect ⑩as they are  
⑪last ⑫see ⑬forget ⑭friendships ⑮last

各レッスンの内容を表で整理します。

マイウェイ英語コミュニケーション

マイウェイ英語コミュニケーション

# ■スラッシュ入り本文

▶スラッシュ入り本文データは、標準的な長さに区切ったものと和訳をつけたもの(Excel)をご用意しています。

# ■Easy Version / サマリー

Easy Version▶本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh*

Section 1

Today, I'd like to introduce / one of my favorite books, / *Winnie-the-Pooh*. // I have read this book / many times / since I was a child. //

The book was written by A. A. Milne, / a British author, / in 1926. // It is about Winnie-the-Pooh / and his friends. // Pooh spends his days in a forest / with Christopher Robin, / Piglet, / Eeyore, / and some other animals. // Every character is unique. //

How did the author create these characters? // Milne had a son, / Christopher Robin. // Christopher Robin played / with many stuffed animals. // He and the stuffed animals / became models for the characters / in the book. // The book has been popular / around the world / for about 100 years. //

Section 2

Recently / I read *Winnie-the-Pooh* again. // Then / I found some new messages / in the book. // Here is one example. // Pooh and Piglet find footsteps / in the snow / and follow them around a tree. // They wonder, / "Whose footsteps are these?" // They have been walking around the tree. // After a while, / they realize / that the footsteps are their own. // Pooh gets disappointed with himself / and says to Christopher nearby, / "I have been foolish, / and I am a bear / of no brain at all." // Christopher responds, / "You're the best bear / in all the world." //

Christopher probably means, / "Don't worry. // I like you / as you are." // The characters in this book / all respect each other / and accept others / as they are. //

Section 3

I also read / *The House at Pooh Corner*. // The book has heartwarming messages, / too. // The last episode is especially moving. // Christopher tells Pooh / that he cannot see Pooh for a while / because he has to start school. // Christopher says, / "Pooh, / promise you won't forget about me, / ever. // Not even when I'm a hundred." // Pooh asks, / "How old will I be then?" // Christopher answers, / "Ninety-nine." // Then / Pooh says, / "I promise." // This interaction shows / that real friendships last / for a long time. //

I had not noticed these messages / until I read the books again. // Both of the books / have meaningful messages for us, / high school students. //

Challenge The *Moomin* Series

The *Moomin* series was written by Tove Jansson, / a Finnish illustrator and writer. // The series has nine books. //

The books are about the daily lives / of Moomintroll and other characters. // Every character has an interesting personality. // Moomintroll is kind and brave. // Sniff is a coward / and often cries. // Little My is honest. // Snufkin is calm, / and he likes freedom and music. // These characters were created / based on Jansson's friends and family. //

The *Moomin* series describes a fantasy world, / but it also includes Jansson's dark memory / of WWII. // For example, / in her first book, / Moomintroll's father goes missing. // This reflects the real situation / during the war. // Through this series, / readers can enjoy the stories / and learn about Jansson's hope / for peace. //

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i> (pp.54-65)		
p.56		
1 Today, /	今日は	
2 I'd like to introduce /	私は紹介したいと思います	
3 one of my favorite books, /	私の好きな本のひとつを	
4 <i>Winnie-the-Pooh</i> . //	『クマのプーさん』	
5 I have read this book /	私は、この本を読んだことがあります	
6 many times /	何度も	
7 since I was a child. //	子どもの頃から	
8 The book was written by A. A. Milne, /	その本は、A.A.ミルンによって書かれました	
9 a British author, /	イギリスの作家である	
10 in 1926. //	1926年に	
11 It is about Winnie-the-Pooh /	それはウinnie・ザ・プーについてのもので	
12 and his friends. //	そして彼の友達たちと	
13 Pooh spends his days in a forest /	プーは、森で日々を過ごしています	
14 with Christopher Robin, /	クリストファー・ロビンと一緒に	
15 Piglet, /	ピグレット	
16 Eeyore, /	イーヨー	
17 and some other animals. //	そしてその他の動物たちと	
18 Every character is unique. //	すべての登場人物はユニークです	
19 How did the author create these characters? //	著者は、どのようにしてこの登場人物たちを生み出したのでしょうか	
20 Milne had a son, /	ミルンには息子がいました	
21 Christopher Robin. //	クリストファー・ロビンという	
22 Christopher Robin played /	クリストファー・ロビンは遊んでいました	
23 with many stuffed animals. //	たくさんのぬいぐるみと	
24 He and the stuffed animals /	彼とその他のぬいぐるみたちが	
25 became models for the characters /	登場人物のモデルになりました	
26 in the book. //	本の	
27 The book has been popular /	その本は人気であり続けています	
28 around the world /	世界中で	
29 for about 100 years. //	約100年の間	
p.58		
1 Recently /	最近	
2 I read <i>Winnie-the-Pooh</i> again. //	私は『クマのプーさん』を読み直しました	
3 Then /	そのとき	
4 I found some new messages /	新たなメッセージを見つけました	
5 in the book. //	その本に	
6 Here is one example. //	例をひとつ挙げます	
7 Pooh and Piglet find footsteps /	プーとピグレットが足跡を見つけます	
8 in the snow /	雪の中で	
9 and follow them around a tree. //	そして木の周りを回ってそれらを追いかけて	
10 They wonder, /	彼らは、不思議に思います	
11 "Whose footsteps are these?" //	「これは誰の足跡なんだろう」と	
12 They have been walking around the tree. //	彼らはずっと木の周りを歩き続けています	
13 After a while, /	しばらくして	
14 they realize /	彼らは気づきます	
15 that the footsteps are their own. //	その足跡は自分たちのものだ	
16 Pooh gets disappointed with himself /	プーは自分にかがっかりします	
17 and says to Christopher nearby, /	そして近くにいるクリストファーに言います	
18 "I have been foolish, /	「ぼくはばかだ	
19 and I am a bear /	そしてぼくはクマなんだ	
20 of no brain at all." //	とくても頭のわかい」	
21 Christopher responds, /	クリストファーは答えます	
22 "You're the best bear /	「きみは一番のクマだよ	
23 in all the world." //	世界中で	
24 Christopher probably means, /	クリストファーはおそらく言っています	
25 "Don't worry. //	「くよくよしないで	
26 I like you /	僕はきみが好きだよ	
27 as you are." //	そのままと	
28 The characters in this book /	この本の登場人物は	
29 all respect each other /	皆お互いに尊敬しあっています	
30 and accept others /	そして他者を受け入れています	
31 as they are. //	あるがままに	
p.60		
1 I also read /	私はまた読みました	
2 <i>The House at Pooh Corner</i> . //	『プー横丁にたった家』を	
3 The book has heartwarming messages, /	その本には心温まるメッセージがあります	
4 too. //	また	
5 The last episode is especially moving. //	最後のエピソードは特に感動的です	
6 Christopher tells Pooh /	クリストファーはプーに伝えます	
7 that he cannot see Pooh for a while /	彼はプーにはしばらく会えないと	
8 because he has to start school. //	彼は学校に通い始めることになるので	
9 Christopher says, /	クリストファーは言います	
10 "Pooh, /	「プー、	

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh*

Easy Version

Section 1

One of my favorite books is *Winnie-the-Pooh*. Today, I want to introduce the book. I have read this book many times since I was a child.

A. A. Milne wrote *Winnie-the-Pooh* in 1926. A. A. Milne was a British writer. The book is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days in a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is special and interesting.

How did the writer make these characters? Milne had a son. The son's name was Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. Christopher Robin and the stuffed animals became models for the characters in *Winnie-the-Pooh*. The book became popular around the world about 100 years ago. The book is still popular now.

Section 2

Recently I read *Winnie-the-Pooh* again. When I read the book, I found some new messages in the book.

サマリー▶各セクションのサマリーを英語と日本語でご用意しています。

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh*

Section 1

*Winnie-the-Pooh* was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Milne's the unique characters in the book. The book has been popular around the world for about 100 years.

Section 2

There are some messages in *Winnie-the-Pooh*. Pooh and Piglet find footsteps and follow them around a tree. Pooh gets disappointed with himself, but Christopher says to him, "You're the best bear in all the world." Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as they are.

Section 3

*The House at Pooh Corner* has heartwarming messages. Christopher tells Pooh that they cannot meet for a while because he has to start school. Christopher says, "Pooh, promise you won't forget about me, ever. Not even when I'm a hundred." Pooh asks, "How old will I be then?" Christopher answers, "Ninety-nine." This interaction shows that real friendships last for a long time. Both books have meaningful messages for us, high school students.

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh*

Section 1

『クマのプーさん』は、イギリスの作家A.A.ミルンによって、1926年に執筆されました。クマのプーさんと彼の友達たちのお話です。ミルンの息子とそのぬいぐるみたちが物語のユニークな登場人物のモデルになりました。この本は、約100年の間、世界中で人気を博しています。

Section 2

『クマのプーさん』にはいくつかのメッセージがあります。例えば、プーとピグレットは足跡を見つけて、木の周りをまわって足跡についていきます。それから、彼らは、その足跡は自分たちのものだと感じます。プーはがっかりしますが、クリストファーは彼を元気づけます。登場人物は、皆お互いに尊敬しあい、他者があるがままに受け入れています。

Section 3

『プー横丁にたった家』にも心温まるメッセージがあります。最後のエピソードで、クリストファーはプーに、学校が始まるためしばらく会えなくなると伝えます。プーは、彼が百歳になっても彼のことを忘れないと約束します。この会話は、真の友情は長く続くということを示しています。どちらの本にも意味のあるメッセージがあります。

# ■活動用WS／ルーブリック案／提示用パワーポイント

# ■指導者用デジタル教科書（教材）



活動用ワークシート▶ 課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート。

Lesson 4 Activity Corner

① Listen

	Title	Main Character	Story
知識・技能 ※1	Hana うらしまたろう	●Name	●
		●Feature	●
思考・判断・表現 ※2	Konji かぐやひめ	●Name	●
		●Feature	●

② Write

I \_\_\_\_\_ . The main character is \_\_\_\_\_ .

He[She] \_\_\_\_\_ . He[She] \_\_\_\_\_ .

He[She] \_\_\_\_\_ .

③ Speak (メモ)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

評価ルーブリック案▶ 言語活動の評価に使えるルーブリック。

Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh Activity Corner ルーブリック案

	A	B	C
知識・技能 ※1	・語彙や表現を適切に使用している。 ・聞き手にわかりやすい音声等で話して伝えている。	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使用している。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。	Bを満たしていない。
思考・判断・表現 ※2	留學生に紹介する日本の物語について、十分な情報でわかりやすく自分の意見と物語の内容を述べている。	留學生に紹介する日本の物語について、自分の意見と物語の内容を述べている。	Bを満たしていない。
主体的に学習に取り組む態度 ※3	留學生に紹介する日本の物語について、十分な情報でわかりやすく自分の意見と物語の内容を述べようとしている。	留學生に紹介する日本の物語について、自分の意見と物語の内容を述べようとしている。	Bを満たしていない。

※1 適切な語彙・表現・音声を意識して練習する。  
 ※2 話す内容の論理展開や構成、全体のまとまりに注意する。よりよく伝えるように、アイコンタクト、ジェスチャー、間、話すスピード、声の大きさなどを工夫する。  
 ※3 ※2を達成するために自分の課題を見つけて「できるようになる」ために取り組む。

指導者用デジタル教科書（教材）▶ 多様なスタイルの授業展開を支えます。

アプリ版（PC、iPad）、クラウド版、それぞれで使うことができる指導者用デジタル教科書（教材）を教師用指導書に同梱！ 紙面表示・本文拡大表示や音声再生だけでなく、先生向けの機能やコンテンツを多数搭載し、テンポのよい授業展開を実現します。



紙面表示 紙面に設定されたアイコンから豊富なコンテンツを呼び出し可能

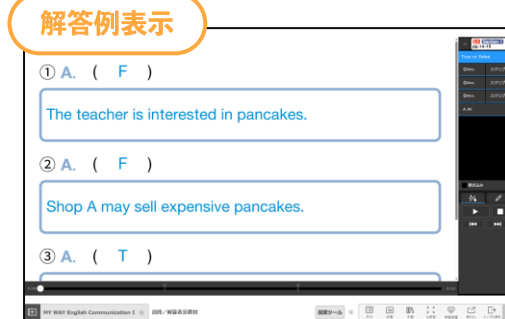
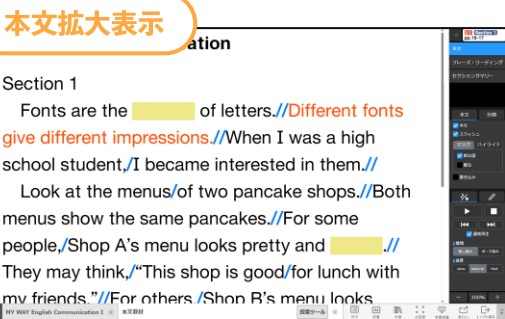
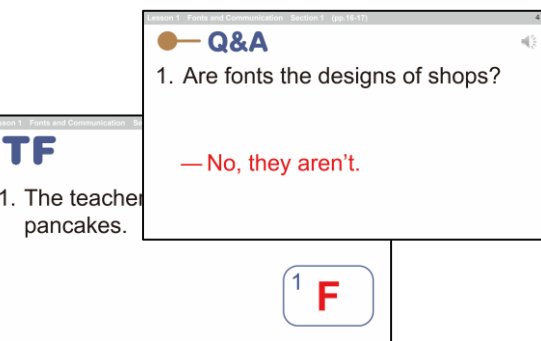
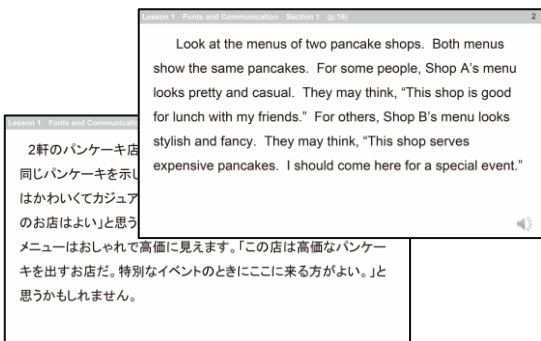
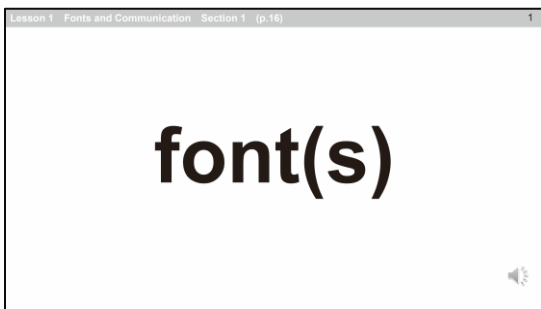


紙面上から音声再生が可能

画面表示を改良しました！

片側ページを白画面表示にして板書が可能（左右切り替え可）

提示用パワーポイント▶ 投影用データとして、各種パワーポイントをご用意しています。



- [主な機能]
- ・ Oral Introductionの音声再生
  - ・ レッスン通し読み本文の表示・音声再生
  - ・ フレーズリーディング表示
  - ・ TF、Q&A、リスニング問題の音声再生
  - ・ セクションサマリーの表示・音声再生
  - ・ リテリング用イラスト表示
  - ・ 各種タスクの解答表示/非表示
  - ・ 題材リンクの表示
  - ・ 授業ツール（タイマー、ストップウォッチ、ルーレット）
  - ・ MY リンク（個別のリンク(URL)を保存できます）

一文ごと、スラッシュごとの本文、単語フラッシュカード、Q&Aなどの音声付きパワーポイントデータです。カスタマイズ可能ですので、様々なシーンでご活用いただけます。

マイウェイ英語コミュニケーション

マイウェイ英語コミュニケーション

# 指導用各種データ一覧



## ■ レッスンごとのデータ

※IIでは内容が一部変更になります。  
※PRE-LESSONとENJOY READING!は一部内容が異なります。

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF	p.29
2	評価問題	①文法・語彙・表現確認問題 ②本文を使った4択問題 ③本文を使った読解総合問題 ④単語・熟語テスト	各レッスンの確認問題	pp.30-31
3	授業案	①授業案 ②素材集 ③CHALLENGE YOURSELF! ④授業展開アイデア	英語で授業をする際の参考授業案 (L1に収録) Oral Introduction、Easy Version、Q&A・TF補充問題、授業で使える素材集 CHALLENGE YOURSELF!を英語でおこなう際の参考授業案 題材や各コーナーの特徴を生かした展開例	
4	教科書本文	①本文データ ②カナ発音付き本文	レッスン本文と教科書の文字データ カナ発音を付けたレッスン本文	p.32
5	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文 (訳なし) ②スラッシュ入り本文 (訳付きA) ③スラッシュ入り本文 (訳付きB)	標準的な長さに区切ったもの 英文の下に訳を入れたもの 英文と訳とを左右に入れたもの	p.32
6	穴あき本文	穴あき本文	1語ずつ穴あきにした本文。訳付き	
7	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの	p.33
8	訳文	①本文訳例 ②穴あき訳 (新出語) ③穴あき訳 (新出語・文法)	教科書本文の和訳 新出語部分が空欄の和訳 新出語とターゲット文法部分が空欄の和訳	
9	本文理解・サマリー	①穴あきサマリー ②QA・TF補充問題 ③教科書の問題の解答	レッスン本文を日本語で要約してキーワード部分を穴あきにしたもの 各セクションのQ&A・TF補充問題 教科書掲載の問題の解答および解答例	p.33
10	その他	①Oral Introduction ②Optional Reading ③CHALLENGE YOURSELF!ループリック ④新出語と連語 ⑤授業用ワークシート	各レッスン、各セクションのOral Introductionのスク립ト レッスン本文に関連した内容の補充読み物 各レッスンのCHALLENGE YOURSELF!のループリック 各レッスンの新出語と連語 (意味・発音記号・カナ発音・CEFR-Jレベル付き) 授業中に使用できる各レッスンのワークシート	p.34 p.34
11	図版	教科書掲載以外の図版	追加の写真・図版などのデータ	

12	ワークブック	①ワークブック ②ワークブック解答 ③ワークブック音声	ワークブックの文字データ ワークブック解答部分の文字データ ワークブックのリスニング問題の音声	
13	投影用データ	①導入 (WARM UP!, QUIZ!)、スライド動画 ②新出語フラッシュカード ③本文 ④スラッシュ入り本文 ⑤内容理解 (CHECK!, SUM UP!, TALK!) ⑥課末 (STUDY IT!, REVIEW!, CHALLENGE YOURSELF!)	レッスン扉ページの活動・スライド動画 各セクションの新出語のフラッシュカード 各セクションの本文と訳 各セクションのスラッシュ入り本文と訳 各セクションの内容理解と活動 課末のまとめと活動	p.34 p.34 p.34

## ■ 各レッスン外のデータ

14	その他教科書テキスト	Get Ready!、ののちゃんの英文法、PRE-LESSON、ENJOY COMMUNICATION!、Look and Learn、Take a Break!、IDEA BOX PLUS、英語の音、基本動詞の不規則変化、句読法	各コーナーの文字データ	
15	新出語と連語	新出語と連語	全ての新出語のリスト (意味・発音記号・カナ発音・CEFR-Jレベル付き)	
16	その他テスト	①リスニング問題 ②ライティング問題 ③スピーキング問題 ④基礎確認ワークシート ⑤定期テスト案	全3回分。リスニングのテスト 全3回分。ライティングのテスト 全3回分。スピーキングのテスト 文法確認のワークシート 「知技」「思判表」を明記した定期テスト案	
17	クラスルーム英語	BASIC CLASSROOM ENGLISH	授業の指示でよく使う英語表現	
18	教科書紙面PDF			
19	教師用指導書『解説と指導』紙面PDF			p.28
20	『マイウェイ総合英語第2版』紙面PDF			

## ■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書 (教師用) 『ウィズダム英和辞典第4版』 『ウィズダム和英辞典第3版』 『エースクラウン英和辞典第3版』			
2	評価支援ツール (観点別評価～評定換算表)			p.36
3	指導者用デジタル教科書 (教材)			p.35
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」			p.38
5	Googleフォーム解答用フォーム (評価問題/ワークブックに対応)			

▶ Teacher's Manual の冊子『解説と指導』の紙面PDFが付属しています。本文検索が可能で、学習事項のインデックスとしてもお使いいただけます。

▶ 各レッスンに題材資料をご用意しています。題材に関連する情報や、参考文献・ウェブサイトのURLなども掲載しています。

LESSON

5

# We Are Part of Nature

教科書 pp.66 ~ 75  
● 配当時間数 4 時間

**課のねらい**

ネコの写真で有名な動物写真家・岩合光昭氏を取り上げる。岩合氏はネコや野生動物の撮影で世界中の国々を訪れており、『ナショナルジオグラフィック』誌で日本人として初めて2度の表紙を飾っている。世界で活躍する岩合氏の、撮影の秘訣や自然への思いから、職業への意識と自然環境について考える。

● **言語材料** (\*は中学既習事項)

セクション	言語材料	発展・関連事項
① (p.68)	*不定詞(名詞の働き) I want to <b>know</b> your secret.	STUDY IT! (p.72)
② (p.70)	*不定詞(副詞・形容詞の働き) I take them to <b>show</b> children wildlife. We have lessons to <b>learn</b> from nature.	

● **言語の使用場面** 多様な手段を通して情報などを得る：職場での活動、学外でのインタビュー

● **言語の働き** コミュニケーションを円滑にする：話題を発展させる、話題を変える  
気持ちを伝える：感謝する 相手の行動を促す：質問する

**題材解説**

**1. 岩合光昭**

岩合光昭氏は日本の動物写真家の草分け的存在である岩合徳光氏を父に、1950年に東京に生まれた。大学在学中に、父の撮影にもなってガラパゴス諸島を訪れ、自然の驚異に圧倒された岩合氏は、卒業後、動物写真家としての道を歩み始めた。以来、南極、アフリカ、オーストラリアなど地球上のあらゆる地域で自然を撮影してきた。世界的ベストセラーとなった写真集『おきて』をはじめとする多数の作品は、世界でも高い評価を得ている。

野生動物を撮影する一方で、身近な動物であるイヌやネコも撮影し続けており、NHK BSプレミアムのドキュメンタリー番組『岩合光昭の世界ネコ歩き』は、多くのファンを獲得している。

動物写真家として自然と対峙してきた岩合氏にとって大切なことは、ありのままに動物を見ることである。人間の側の解釈で捻じ曲げるのではなく、動物や自然の側から見るのが重要だという岩合氏の姿勢は、人間もまた自然の一部にすぎないという自然観に基づく。

**2. ガラパゴス諸島**

岩合氏が写真家になるきっかけとなったガラパゴス諸島は南米のエクアドル領で、本土とは約1,000キロ離れた東太平洋のほぼ赤道直下にあり、イサベラ島やサンタクルス島などの19の島と、200あまりの小島や岩礁からなる火山群島である。

ガラパゴス諸島は大陸と陸続きになった歴史をもたないため、隔絶されて独自の進化を遂げた固有種が多く見られる。「進化の生きた博物館」と言われ、世界遺産第1号の1つとなった。ガラパゴスイグアナ、ガラパゴスアシカなど数多くの固有種が存在する。

● **参考資料**

① 『ユリイカ』(青土社、2019年3月号)  
② 『岩合光昭の大自然100』(中央公論社、2006年)  
③ 岩合光昭 official site  
<https://iwago.jp> (2026年1月閲覧)


「指導用各種データ1 題材資料」もご活用ください。

136

ビスタ英語コミュニケーション

28

## LESSON 5 We Are Part of Nature



1. 写真家・岩合光昭さん  
2. ガラパゴスについて

**1. 写真家・岩合光昭さん**

**1. 経歴**

動物写真家、岩合光昭さんは、1950年11月27日、東京で生まれた。父は日本の動物写真家の草分け的存在である岩合徳光。少年期から写真に親しんでいた岩合さんが動物写真家を志したのは、1970年、法政大学経済学部在学中の19歳のときに、父の助手としてガラパゴス諸島を訪れたことがきっかけであった。岩合さんはこの時の経験について、「ガラパゴスで心を動かされたのは、珍しい生き物がいるということではなく、ごく当たり前のようにイグアナがいるという環境があることに感動したからだ」と、自然の驚異に圧倒されたことを述べている。

岩合さんは卒業後、動物写真家としての道を歩み始め、南極、北極圏など世界各地を取材、1978年には最初の写真集『LOVE CAT LOVE 愛するねこたち』(講談社)を発刊する。1987年、27歳のとき、雑誌アサヒグラフ(朝日新聞社)に世界中の海をテーマにした『海からの手紙』の連載を始めたことが、動物写真家として認められる契機となった。この企画では40か国を回り、2年3か月に及ぶ長期連載となり、連載中に木村伊兵衛写真賞を受賞した。

1982~84年にはアフリカ、タンザニアのセレンゲティ国立公園に妻、娘とともに1年半滞在して、野生動物の撮影をした。写真集『おきて』は全世界で20万部を超えるベストセラーとなった。1986~1988年には一家でオーストラリアに居を移し、野生動物を取材、撮影をするなど、その後もあらゆる地域の野生動物や大自然を撮影し続けている。

『おきて』の表紙のライオンの親子の写真は、日本人写真家として初めてナショナルジオグラフィックの表紙(1986年5月号)を飾る。さらに1996年の『スノーモンキー』と、日本人で初めて2度にわたってナショナルジオグラフィックの表紙を飾った岩合さんは、海外での評価も高い。独特の色とコントラストを持つ作品はIWAGO'S COLORと賞賛され、海外のメディアでも数多く特集されている。

ナショナルジオグラフィック

ナショナルジオグラフィックパートナーズ社の月刊誌。1888年、アメリカの非営利団体「ナショナルジオグラフィック協会」の公式雑誌として発行されたが、2015年、21世紀フォックス社に売却され、ナショナルジオグラフィックパートナーズの刊行物となった。表紙の黄色の枠を特徴とし、世界180か国以上で840万人に購読されている。写真の選定については厳格で、最高品質の記録写真を掲載してきたことでも知られる。多くのカメラマンが撮影してきた写真も、誌面に載るのは1万枚のうち1、2枚だという。

野生動物や大自然を撮影する一方で、身近な動物であるイヌやネコも撮影し続けており、数多くのファンを獲得している。2012年から開始したNHK-BSプレミアムのドキュメンタリー番組『岩合光昭の世界ネコ歩き』は、ネコブームをけん引し、岩合さんの知名度も大きく上がることとなった。2019年には映画『ねこことじいちゃん』で初の映画監督にも挑戦している。

現在も、岩合さんは世界中で精力的に取材をし続け、人間に飼われるイヌやネコと、野生動物の両方を視野に入れた活動を行っている。地

ビスタ英語コミュニケーション

29

## ■ 評価問題（基礎確認ワークシートを含む）

▶ レッスンごとに、本文を使った問題のほか、文法、単語テストなどがあります。

### LESSON 5 総合問題

次の英文を読んで、設問に答えなさい。

Read the passage and answer the questions.

Emma: You're a popular (1) ( ) photographer. You really enjoy taking cat photos. (2) I want to know your secret for taking great photos!

Iwago: Thank you. My secret is to love cats. To spend a lot of time with them (3) (be) the key. When you understand their lifestyles, you can find chances for wonderful photos.

Emma: You take photographs of nature, too.

Iwago: Yes. I take them to show children wildlife. When I was 19, I went to the Galapagos Islands to help my father.

Emma: (4) [ wildlife / amazing / to / see / opportunities / had / you ] there.

Iwago: Right! We have lessons to learn from nature. (5) We are ( ) ( ) it.

Emma: We must remember (6) that.

A. 空所(1)に入れるものとして、適切なものを選び、記号で答えなさい。

Choose the most suitable answer below to fill in the blank space (1).

(ア) car (イ) animal (ウ) flower (エ) bird ( )

B. 下線部(2)を日本語にしなさい。

Put the underlined sentence (2) into Japanese.

\_\_\_\_\_

C. 下線部(3)の be を適切な形にしなさい。

Put the underlined word (3) in the appropriate form.

( )

D. 下線部(4)が「そこで素晴らしい野生動物を見る機会があったのですね。」という意味になるように、( )内の語句を並べかえなさい。

Put the words in the brackets in the correct order so that the underlined sentence (4) will mean about the same as the Japanese sentence.

\_\_\_\_\_

E. 下線部(5)が「私たちはその一部なのです」という意味になるように、空所に適切な語を書きなさい。

Fill in the blank space (5) with the appropriate word.

We are ( ) ( ) it.

### LESSON 5 単語・熟語テスト

組 \_\_\_\_\_ 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

A. 次の意味を表す語を、与えられた文字に続けて書きなさい。

Using the given first letter, write the word that matches the Japanese meaning.

- |          |         |             |         |
|----------|---------|-------------|---------|
| 1. 自然    | n _____ | 2. 過ごす      | s _____ |
| 3. 驚くべき  | a _____ | 4. 見込み、チャンス | c _____ |
| 5. 秘密    | s _____ | 6. ライフスタイル  | l _____ |
| 7. 教訓、教え | l _____ | 8. 島        | i _____ |
| 9. 写真家   | p _____ | 10. 機会      | o _____ |

B. 次の語の意味を書きなさい。

Write the meaning of the following words.

- |               |     |               |     |
|---------------|-----|---------------|-----|
| 1. wildlife   | ( ) | 2. understand | ( ) |
| 3. animal     | ( ) | 4. popular    | ( ) |
| 5. photograph | ( ) | 6. remember   | ( ) |

C. 次の動詞の動名詞を書きなさい。

Write the gerund of the following verbs.

- |         |       |          |       |
|---------|-------|----------|-------|
| 1. take | _____ | 2. enjoy | _____ |
| 3. show | _____ | 4. love  | _____ |

D. 日本語の意味を表すように、空所に適切な1語を入れなさい。

Fill in the blank with a word that matches the Japanese meaning.

- |             |               |         |
|-------------|---------------|---------|
| 1. 写真を撮る    | _____         | a photo |
| 2. ~するための秘訣 | _____         | for ~   |
| 3. ~から学ぶ    | _____         | from ~  |
| 4. ~の一部     | _____         | of ~    |
| 5. ~する機会を得る | have an _____ | to ~    |

## ■カナ発音付き本文／スラッシュ入り本文

▶ご指導と学習をサポートする、さまざまな本文データをご用意しています。

### カナ発音付き本文データ

#### LESSON 5

ウイ ア パート オヴ ネイチャ  
We Are Part of Nature

#### SECTION 1

Emma: ①You're a popular animal photographer.// ②You really enjoy / taking cat photos.// ③I want to know your secret / for taking great photos!

Iwago: ④Thank you.// ⑤My secret is / to love cats.// ⑥To spend a lot of time with them / is the key.// ⑦When you understand their lifestyles, / you can find chances / for wonderful photos.//

#### SECTION 2

Emma: ①You take photographs of nature, / too.//

Iwago: ②Yes.// ③I take them / to show children wildlife.// ④When I was 19, / I went to the Galapagos Islands / to help my father.//

#### LESSON 5

We Are Part of Nature

#### SECTION 1

Emma: ①You're a popular animal photographer.// ②You really enjoy / taking cat photos.// ③I want to know your secret / for taking great photos!//

あなたは人気のある動物写真家です。 あなたは本当に楽しんでます  
ネコの写真を撮ることを。 私はあなたの秘訣を知りたいです すばらしい写真を撮るための!

Iwago: ④Thank you.// ⑤My secret is / to love cats.// ⑥To spend a lot of time with them / is the key.// ⑦When you understand their lifestyles, / you can find chances / for wonderful photos.//

ありがとうございます。 私の秘訣は ネコを愛することです。 彼らと長い時間を過ごすことが  
コツです。 彼らのライフスタイルを理解すれば、あなたはチャンスを見つけることができます。

chances / for wonderful photos.//

すばらしい写真のための

#### SECTION 2

Emma: ①You take photographs of nature, / too.//

### スラッシュ入り本文

- ①標準的な長さに区切ったもの
- ②英文下に訳 (Word)
- ③英文右に訳 (Excel)

## ■Easy Version／穴あきサマリー

Easy Version▶本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。

#### LESSON 5 We Are Part of Nature

##### 【Easy Version of SECTION 1】

Emma: You are a popular animal photographer. You really enjoy taking cat photos. I want to know your secret!

Iwago: Thank you. My secret is loving cats. I spend a lot of time with them. This is the key. I understand their lifestyles. Then I can take great photos.

##### 【Easy Version of SECTION 2】

Emma: You take photos of nature, too.

Iwago: Yes. I want to show wildlife to children. When I was 19, I went to the Galapagos Islands. I helped my father there.

Emma: You saw amazing wildlife.

Iwago: Right! We can learn lessons from nature. We are part of nature.

Emma: We must remember that.

(49)

### 穴あきサマリー

本文の内容と一致するように、( ) 内に適切な語を入れてみよう。

#### LESSON 5

岩合光昭さんは人気のある動物(①)で、特にネコの写真を多く撮影しています。すばらしい写真を撮るための(②)は、ネコを愛し、彼らと長い時間を過ごすことだそうです。彼らの(③)を理解すれば、すばらしい写真を撮るチャンスを見つけられるとのこと。

岩合さんは(④)の写真も撮っています。それは子どもたちに(⑤)動物を見せるためです。岩合さんは19歳のときに、父親を手伝うために(⑥)諸島を訪れて、すばらしい(⑤)動物を見る機会がありました。

私たちに自然から学ぶ(⑦)があります。私たちは自然の(⑧)であり、そのことを覚えておかなくてはなりません。

#### 解答

①写真家 ②秘訣 ③ライフスタイル ④自然 ⑤野生 ⑥ガラパゴス ⑦教訓 ⑧一部

穴あきサマリー▶  
レッスン本文を  
日本語で要約して  
キーワード部分を  
穴あきにしたものを  
ご用意しています。

# ■授業用WS／ルーブリック案／提示用パワーポイント

授業用ワークシート▶授業中に使用できる各レッスンのワークシート。



評価ルーブリック案▶言語活動の評価に使えるルーブリック。

LESSON 5 CHALLENGE YOURSELF! ルーブリック案

	観点	A	B	C
知識・技能	話す(やりとり、発表)適切な文法・語法・表現を使って、発音やイントネーションを意識して発話している。	小さな誤りはあるが、全体として適切な文法・語法・表現を使って、発音やイントネーションを意識して発話している。	小さな誤りはあるが、全体として適切な文法・語法・表現を使って、発音やイントネーションを意識して発話している。	Bを満たしていない。
思考・判断・表現	自分がしている課題にふさわしいことについて、わかりやすく的確に述べている。	自分がしている課題にふさわしいことについて、JREA BOXを参考にしながら自分の表現も使っている。	自分がしている課題にふさわしいことについて、JREA BOXの表現を適用して述べている。	Bを満たしていない。
主体的な学び	自分がしている課題にふさわしいことについて、わかりやすく的確に述べている。	自分がしている課題にふさわしいことについて、JREA BOXを参考にしながら自分の表現も使っている。	自分がしている課題にふさわしいことについて、JREA BOXの表現を適用して述べている。	Bを満たしていない。

提示用パワーポイント▶投影用データとして、各種パワーポイントをご用意しています。



スラッシュごとの本文、単語フラッシュカード、Q&Aなどの音声付きパワーポイントデータです。カスタマイズ可能ですので、様々なシーンでご活用いただけます。

# ■指導者用デジタル教科書（教材）

教師用指導書同梱

指導者用デジタル教科書（教材）▶多様なスタイルの授業展開を支えます。

アプリ版（PC、iPad）、クラウド版、それぞれで使うことができる指導者用デジタル教科書（教材）を教師用指導書に同梱！紙面表示・本文拡大表示や音声再生だけでなく、先生向けの機能やコンテンツを多数搭載し、テンポのよい授業展開を実現します。

デジタルコンテンツ紹介ページ



紙面表示

紙面に設定されたアイコンから豊富なコンテンツを呼び出し可能



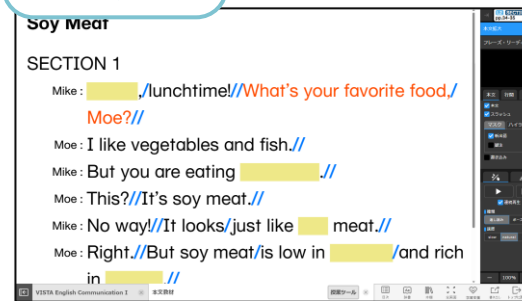
紙面上から音声再生が可能

画面表示を改良しました!

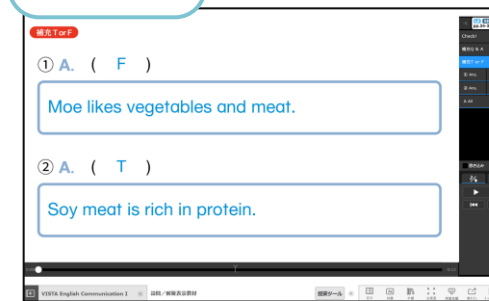
片側ページを白画面表示にして板書が可能(左右切り替え可)



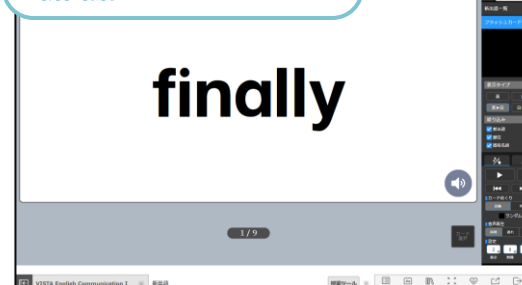
本文拡大表示



解答例表示



新出語フラッシュカード



【主な機能】

- ・ Oral Introductionの音声再生
- ・ レッスン通し読み本文の表示・音声再生
- ・ フレーズリーディング表示
- ・ TF、Q&A、リスニング問題の音声再生
- ・ 各種タスクの解答表示/非表示
- ・ 題材リンクの表示
- ・ 授業ツール (タイマー、ストップウォッチ、ルーレット)
- ・ MYリンク (個別のリンク(URL)を保存できます)

## ■ 評価支援ツールのご紹介（観点別評価～評定換算表）

			D	E	F	G	H	I							
1	A	B	達成度	a	b	c									
2				3	2	1									
4			学期(登録値)→	1	1	1	1	1							
5			重み付け(登録値)→	1				1							
6			領域(登録値)→	読む	読む	読む	読む	読む							
7			項目名を選択→	Lesson 1 読む				Lesson 2 話す[発表]							
8	クラス	番号	名前	知識・技能	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
9	1	1	サンプル1	b	2	b	2	a	3	b	2	a	3	b	2
10	1	2	サンプル2	a	3	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2
11	1	3	サンプル3	c	1	c	1	b	2	c	1	b	2	c	1
12	1	4	サンプル4	b	2	a	3	b	2	a	3	b	2	a	3
13	1	5	サンプル5	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3	a	3
14	1	6	サンプル6	b	2	b	2	c	1	b	2	c	1	b	2
15	1	7	サンプル7	b	2	b	2	c	1	b	2	c	1	b	2
16	1	8	サンプル8	a	3	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2
17	1	9	サンプル9	c	1	c	1	b	2	c	1	b	2	c	1
18	1	10	サンプル10	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2	b	2

領域ごとにa・b・cの観点別評価を入力すると、事前に設定した達成度に基づく点数が自動的に集計されます。

学期ごとおよび年間合計の達成度に基づき、総合的な評価の参考にできる指標が示されます。

			D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	
			達成度計	12.0	達成度計	12.0	達成度計	12.0													
			集計評価 <総合>																		
			知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度								
			a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価				
7			【決定評価】																		
8	クラス	番号	名前	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価
9	1	1	サンプル1	B	A	B	1	3	0	9.0	B	3	1	0	11.0	A	1	3	0	9.0	B
10	1	2	サンプル2	A	B	B	2	2	0	10.0	A	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B
11	1	3	サンプル3	C	B	B	0	0	4	4.0	C	0	3	1	7.0	B	0	2	2	6.0	B
12	1	4	サンプル4	A	B	A	2	2	0	10.0	A	1	3	0	9.0	B	2	2	0	10.0	A
13	1	5	サンプル5	A	A	A	4	0	0	12.0	A	4	0	0	12.0	A	4	0	0	12.0	A
14	1	6	サンプル6	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	1	3	5.0	B	0	2	2	6.0	B
15	1	7	サンプル7	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	1	3	5.0	B	0	2	2	6.0	B
16	1	8	サンプル8	A	B	B	2	2	0	10.0	A	0	4	0	8.0	B	1	3	0	9.0	B
17	1	9	サンプル9	C	B	B	0	4	0	4.0	C	0	3	1	7.0	B	0	2	2	6.0	B
18	1	10	サンプル10	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B

総括評価をもとにした評定への換算を計算できます。通常のExcelファイルなので、カスタマイズも可能です。また、Google スプレッドシートなどでもお使いいただけます。

※形式は全書名共通です。 ※内容は一部変更になる可能性があります。

## ■ データ活用のご案内



### ① 授業準備・教材研究には…

- 「解説と指導」では、文法・語法解説に加え、題材関連情報やタスク解答例など、授業をイメージするための情報が豊富に掲載されています。
- データ「解説と指導PDF」では文字検索もできますので、調べたいところにすぐにたどり着けます。文法項目などのインデックス代わりにもお使いいただけます。
- データ「教科書紙面PDF」からは、スナップショットツールなどを用いて図版を切り取ることができ、独自のプリント作りなどにも活用いただけます。
- 指導用CDをご購入いただければ、音声MP3データのダウンロードが可能になりますので、プリントや提示資料への音声組み込み等が可能になります。

### ② 実際の授業では…

- 指導者用デジタル教科書（教材）のほか、本文・新出単語を手軽に提示できる提示用パワーポイントデータ（音声付）も付属しています。
- 題材資料はプリントの形に整っており、そのまま生徒に配布することも可能です。
- 穴あきサマリーや情報の整理、本文Easy Versionなど、本文読解を幅広い角度から行える材料が豊富に用意されています。
- 各種ワークシートやリテリング用イラストなど、教科書活動に合わせて使えるデータも豊富に収録しています。また活動やパフォーマンス課題については、評価の観点やループリック案を、「解説と指導」への記載、別途データの形などで提示しています。
- ことまな辞書や「総合英語」紙面PDFは、参照用にも、授業での提示用にもお使いいただけます。

### ③ テスト作成、評価では…

- レッスンごとの評価問題をはじめ、教科書に応じて幅広いレベルのテスト例をご用意しています。評価の観点を付した定期テスト案もございます。
- ウェブ版自動問題作成「ことまなT」では、主にワークブックの問題を用いたテスト問題を手軽に作成できます。プログラムは採用書籍を問わず共通ですので、他教科書・学参などの問題もご参考にいただけます。
- 評定に向けて、積み上げた観点別評価を数値に換算・集計できる評価支援ツール（Excelデータ）をご用意しています。